

第四十九回 帝國議會 貴族院議事速記録第九號

大正十三年七月十七日(木曜日)

午前十時二十五分開議

議事日程 第九號 大正十三年七月十七日

午前十時開議

- 第一 震災善後公債法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 借地借家臨時處理法案(政府提出) 衆議院送付 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案(政府提出) 衆議院送付 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第一號) 會 議(委員長報告)
- 第五 大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第二號) 會 議(委員長報告)
- 第六 大正十三年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號) 會 議(委員長報告)
- 第七 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號) 會 議(委員長報告)
- 第八 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號) 會 議(委員長報告)
- 第九 大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第三號) 會 議(委員長報告)
- 第十 大正十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號) 會 議(委員長報告)
- 第十一 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號) 會 議(委員長報告)

第十二 大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第五號) 會 議(委員長報告)

第十三 大正十三年勅令第四十六號(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第十四 大正十一年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第十五 大正十一年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第十六 大正十二年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第十七 自大正十二年四月豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第十八 大正十二年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第十九 自大正十二年四月特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第二十 臨時物資供給特別會計豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第二十一 大正九年法律第五十六號中改正法律案(政府提出) 衆議院送付 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十二 國籍法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十三 戶籍法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十四 朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出) 衆議院送付 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十五 震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案(政府提出) 衆議院送付 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十六 復興貯蓄債券法案(政府提出) 衆議院送付 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十七 借地借家調停法中改正法律案(政府提出 衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長 報告)

第二十八 大正十年度歳入歳出總決算、大正十年度各特別會計歳入歳出決算報告

會議(委員長 報告)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

去ル十三日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大學特別會計法中改正法律案

大正八年法律第十二號中改正法律案

古社寺保存金ノ臨時支出ニ關スル法律案

震災被害地ノ地租免除等ニ關スル法律案

震災ニ因リ地租ヲ免除セラルル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案

砂防法中改正法律案

小作調停案

同日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ奏上シ又承諾スヘキモノト議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正十三年勅令第二十一號

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

鑛業法中改正法律案

同日本院ニ於テ採擇スヘキモノト議決シタル鶴見川改修費國庫補助ノ請願ハ意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

去ル十四日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

大正九年法律第五十六號中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵酒井 忠 正君 副委員長 男爵山根 武亮君

國籍法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 男爵大島富士太郎君 副委員長 鍋島 桂次郎君

朝鮮銀行法中改正法律案特別委員會

委員長 仁尾 惟茂君 副委員長 男爵高崎 弓彦君

震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案外一件特別委員會

委員長 子爵前田 利定君 副委員長 男爵阪谷 芳郎君

養澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵大河内 正敏君 副委員長 男爵東 郷 安君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

國籍法中改正法律案可決報告書

戶籍法中改正法律案可決報告書

朝鮮銀行法中改正法律案可決報告書

震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案可決報告書

復興貯蓄債券法案可決報告書

大正十年度歳入歳出總決算、大正十年度各特別會計歳入歳出決算審査報告書

同日特別委員副委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案可決報告書

一昨十五日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

借地借家臨時處理法案外一件特別委員會

委員長 子爵秋月 種英君 副委員長 河村讓三郎君

大正十一年度第一豫備金支出ノ件外六件(承諾ヲ求ムル件)特別委員會

委員長 山 脇 立君 副委員長 鈴木 摠兵衛君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正九年法律第五十六號中改正法律案可決報告書

借地借家臨時處理法案可決報告書

借地借家調停法中改正法律案可決報告書

大正十一年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正十一年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正十二年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、自大正十二年四月至同一年十一月豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、自大正十二年四月至同一年十一月豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正十二年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、自大正十二年四月至同一年十一月豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、臨時物資供給特別會計豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

請願委員會特別報告第二號

昨十六日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

震災善後公債法中改正法律案可決報告書

大正十三年勅令第四十六號(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、大正十三年度歳入歳出總

豫算追加案(第二號)、大正十三年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第

一號)、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル件(追第一號)、

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル件(追第二號)、大正十

三年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)、大正十三年度各特別會計歳入歳

出豫算追加案(特第二號)、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル件

スル件(追第三號)、大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第五號)可決報

告書

請願文書表第三回報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、一昨十五日本院議
員從三位勳二等子爵黒田清輝君ノ薨去ノ報ニ接シマシテ誠ニ痛惜ニ堪ヘマセ
ヌ、依ッテ弔辭ヲ贈ルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長 公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、日程第一、震
災善後公債法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長
報告

震災善後公債法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十六日

右特別委員長

子爵 八條 隆正

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵八條隆正君演壇ニ登ル〕

○子爵八條隆正君 唯今、議題ニ上ボリマシタル震災善後法中改正法律案ノ

特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、特別委員會ハ二回開會イタ

シマシテ、原案ヲ可決イタシマシタ、本法ノ改正ノ要點ハ先日本議場ニ於キ

マシテ大藏大臣ヨリ説明セラレマシタル如ク、同法第一條ノ改正デアリマシ

テ、同法第一條ニ震災ニ伴フ復興事業ノ經費支辨ノ爲ニ政府ハ四億六千八百

五十萬圓ヲ限リ、公債ヲ發行シ得ルコトトナッテ居リマスノデアリマス、ソレ

ヲ第一ニハ其目的範圍ヲ擴張イタシ、管ニ所謂帝都復興事業ノ爲ノミナラズ、

此外ニ新ニ各般ノ震災復舊等ニ關スル經費ヲモ公債支辨事業ニ致サムトスル

モノデアリマス、又第二ニハ復興事業費ニ追加ヲ要スルガ爲ニ、其増額ヲ要ス

ル分ト、又目的範圍ヲ擴張スルガ爲ニ金額ノ増加ヲ要スルノトノ、二ツノ理

由ニ依リマシテ、現在ノ發行限度タル四億六千八百五十萬圓ニ、更ニ六億四

百五十萬圓ヲ増加イタシテ、十億七千三百萬圓トナサムトスルノデアリマ

ス、即チ帝都復興費ノ追加ト致シマシテハ、地方復興事業貸付金トシテ、東

京及横濱兩市ニ對シ市ノ執行スル街路及土地區劃整理事業ノ資金ヲ國庫ヨリ

貸付セムトスルモノガ、四千六百十四萬五千圓デアリマス、又地方復興事業

費補助ト致シテ、右ノ兩市ニ於テ同ジク執行スル街路區劃整理事業ニ對シ、

其費用ヲ補助スルノ必要アルモノガ五千八百八十五萬五千圓デアリマシテ、合

セテ一億五百萬圓デアリマス、又震災ニ因ル各種ノ復舊ノ爲ニ要スル經費ノ

中、公債財源ニ依ルモノガ五億二千五百三十萬餘圓デアリマス、此費額ハ一

般ノ復舊、即チ電信電話ノ復舊或ハ諸官衙ノ復舊、要塞ノ復舊、諸學校ノ復舊、

其他各種ノ事ニ充テムトスルモノデアリマシテ、總額ハ十億九千六百七十四

萬五千六百九十三圓トナルノデアリマスガ、右ノ中、大正十三年勅令第四十六

號ノ緊急財政處分ニ依リマシテ發行スル公債二千四百八十八萬一千五百一圓デ

アリマスガ、之ヲ差引イタシマシテ殘額十億七千三百五十六萬四千六百四十

二圓トナルノデアリマスガ、此端數ヲ切上ゲマシタル結果、十億七千三百萬

圓ヲ以テ新ニ本公債法ノ發行限度ニナサムトスルノデアリマス、右ハ追加第

一第二號ノ豫算、又ハ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關聯ヲ致シテ居ル

モノデアリマス、右ニ付キマシテ質問ニ入りマシタ所ガ、種々御質問モアリ

マシタガ、主トシテ本改正案ト豫算トノ關係ニ涉ルモノガ主ナモノデアリマ

ス、特ニ御報告スル程ノコトデアリマセヌ、其中、鐵道ノ復舊復興ニ要ス

ル公債ハ、何レニ依ルカト云フ御質問ガゴザイマシタガ、之ニ對スル政府ノ

答辯ハ、鐵道ノ復舊復興ニモ一億二千萬圓ヲ要スルノデ、公債財源ニ依ルト

シマシテ、是亦廣キ意味ニ於キマシテハ、一種ノ震災善後公債ト云フベキモノデアルガ、是ハ鐵道公債ハ鐵道特別會計ニ依ル公債デアリマスガ故ニ、此善後公債法ニ依ラズ、一般會計ニ屬スル震災善後公債トハ之ヲ區別シタトノコトデアリマス、次イデ討論ニ入りマシタガ、何等ノ御意見モナク全員一致ヲ以テ本案ヲ可決相成リマシタル次第デゴザイマス、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議案全部ヲ問題ニ供シマス原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二、借地借家臨時處理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

借地借家臨時處理法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十五日

右特別委員長

子爵 秋月 種英

貴族院議長公爵徳川家達君

〔子爵秋月種英君演壇ニ登ル〕

○子爵秋月種英君 唯今ノ日程ニ上ホリマシタル借地借家臨時處理法案ニ付キマシテ特別委員會ノ結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、本案提出ノ理由ハ曩ニ司法大臣ヨリ縷々御述べニナリマシタコトデゴザイマスルカラ、此際省略ヲ致シタイト存ジマス、本案ハ借地借家ニ關シマス紛争事件ニ付キマシテ當事者雙方ノ利害ヲ公平ニ調和シ、且ツ解決ヲ迅速圓滿ナラシメムコトヲ目的ト致シテ居リマスル一時的ノ法律デアリマス、今本案ノ要點ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一ニ借地借家ノ條件ノ不當ナルモノガ間クアリマスノデ、左様ナ場合ニハ裁判所ハ其條件ノ變更ヲ命ズルコトヲ得ルト云フコトニ致シマシタノガ一點デアリマス、第二點ハ燒跡ニ新築セラレマシタル家屋ニ付キマシテハ從來ノ借主ニ對シマシテ優先權ヲ認メマシタルモノデアリマス、第三ニハ從前ノ借家人ハ家主ノ同意ヲ得マシテ燒跡ニ家ヲ建テマシタ場合ハ一定ノ借地權ヲ認メマシタモノデアリマス、所謂是ガ世間デ申シマスル「バラック」問題ト云フモノデアリマス、第四ニハ燒跡ノ借地權、若クハ建物ハ登記ガ無クトモ本年ノ七月一日ヲ限度ト致シマシテ第三者ニ對抗スルコトヲ得ト云フコトニ致シマシタモノデアリマス、以上ノ四點ヨリ成ツテ居リマス法律デアリマシテ、其法律ノ期限ヲ大正十八年四月末日迄ト致シテ居ルモノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ種種ナ質問モゴザイマシタ次第デアリマスルガ、茲ニハ其二三ヲ申上ゲタイト存ジマス、第三條ノ優先權ヲ認メタト云フノハドウ云フ原因ニ依ルノデアルカ、即チ法律關係ニ依ルモノデアルカ、又ハ事實關係ニ依ルモノデアルカ、斯ウ云フ御質問デアリマシタ、政府ハ事實關係ニ依ルモノダト云フコトヲ認メテ居リマス、ソレデ借家人ハ元カラ其處ニ住居シ、或ハ營業シテ居ッタト云フヤウナ事實ト云フコトト、一面ニ於キマシテハ

貸主が其場所ニ新ニ家ヲ人ニ貸スト云フ以前ニ於テ建テル以上ハ從前ノ借主ニ貸シタ方ガ宜イト云フ事實關係ニ依ッテ優先權ヲ認メタモノデアルト云フコトニ解釋シテ居リマス、ソレカラ第七條ノ大正十三年七月一日ヲ限度トシタト云フ理由ハ何處ニアルカ、即チ九月震災當時マデ此法律ヲ遡及セシメタ方ガ宜イデハナイカト云フ、斯ウ云フヤウナ御質問デアリマシタ、之ニ對シマシテ政府ハ成程ソレハ一應御尤モナ御議論デハアルケレドモガ、既ニ多クノ日數ヲ經過シテ居ル今日デアリマスル爲ニ、第三者ノ利益關係ガ其間ニ含まレテ居ル心配ガアツテ、所謂第三者ノ經濟關係其他ニ複雑ナ法律關係ヲ喚起スト云フヤウナ憂ガアルカラ、是ハ矢張り七月一日ヲ限度トシタ方ガ適當ナモノデアラウ、斯ウ云フヤウナ意見ヲ持ッテ居リマス、其他種々ナ質問ガアリマシタケレドモ、此際速記ニ讓リタイト思ヒマス、要シマスルニ本案ハ昨年ノ大震災ニ於キマシテ多數ノ家屋ガ一時ニ滅失シマシタ爲ニ多數ノ人ハ生活ノ安定ヲ脅サレテ、從テ借地借家ノ關係ガサナキダニ複雑ナ狀態ニナツテ居ル、之ヲ一日モ速ニ解決スルト云フノ目下ノ急務デアル、且又帝都復興事業ニ付ラモ甚ダ關係ノアルモノデアアルカラ、何トカシテ一日モ早く解決シナケレバナラヌト云フヤウナ趣旨ニ依リマシテ、政府ニ於テハ改正法ニ依リマスル調停ノ主義ニ依ッテヤッタ方ガ一番宜シイ、斯ウ云フヤウナ考デ調停主任其他委員等ノ實際意見ヲ聽キマシテ本案ヲ提出サレマシテ、所謂合理的ノ規定ト云フモノヲ設ケマスレバ、調停ノ效果モ益、良イ結果ニナルト云フコトヲ認メマシタ爲ニ、本案ノ提出ニナリマシタ所以デアリマス、委員會ニ於キマシテハ慎重審議、十分研究ヲ致シマシタ結果、本案ハ誠ニ時宜ニ適シテ居ル、且ツ又緊急必要ナルモノデアアル、寧ろ遅キニ失スルノ憾ガアルカラ、一日モ早く斯ノ如キ法案ハ成立セシメナケレバナラヌト云フ議論ニ歸著イタシマシテ、全會一致ヲ以テ可決相成リマシタ次第ゴザイマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ

ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三、高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告
高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十四日

右特別委員副委員長

澤柳政太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔澤柳政太郎君演壇ニ登ル〕

○澤柳政太郎君 唯今日程ニ上ホリマシタ法律案ノ委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス、本案ハ極メテ簡單ナルモノデアリマスルガ、第一項ハ帝國大學其他ノ大學ニ於キマシテハ、特別會計法ニ依リマシテ臨時部モ其會計ニ於テ取扱

フノデアリマスルガ、此度ノ震災ニ依ッテ復舊工事ハ他ノ幾多ノ學校ト共ニ統一ヲ致シテヤル方ガ工事ノ便宜モアリ、又工事費ノ節約ニナルト云フコトデ諸學校ノ特別會計ノ資金ニ屬シテ居リマスルモノハ之ヲ消費スルコトガ出來ナイノデアリマスルガ、震災ニ依ル豫算ノ執行ノ結果、不用ニ屬シマシタル土地建物ハ之ヲ拂戻シテ、即チ國有財産ニ返スト云フ特例ヲ設ケタイト云フコトデゴザイマス、本案ニ對シマシテハ三四ノ質問モアリマシタガ、別ニ茲ニ御報告申上ゲル程ノコトモナイノデゴザイマス、別段議論モナク委員會ハ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デアリマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四、大正十三年度歳入歳出總豫算追加案第一號、第五、大正十三年度歳入歳出總豫算追加案第二號、第六、大正十三年度特別會計歳入歳出豫算追加案第一號、第七、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號、第八、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第二號、第九、大正十三年度歳入歳出總豫算追加案第三號、第十、大正十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案第二號、第十一、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第三號、第十二、大正十三年度歳入歳出總豫算追加案第五號、會議、委員長報告、豫算委員長林伯爵

一大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

一大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一大正十三年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

一大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

一大正十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)

一大正十三年度歳入歳出總豫算追加案(第五號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十六日

豫算委員長 伯爵 林 博太郎

貴族院議長公爵徳川家達君

○伯爵林博太郎君 是ヨリ議題ニ上ボリマシタ豫算諸案ニ付キマシテ、豫算委員會ノ經過並ニ結果ヲ簡單ニ御報告ヲ致シマス、大正十三年度歳入歳出總

○伯爵林博太郎君演壇ニ登ル

豫算追加案第一號、第二號、第三號及第五號、大正十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案特第一號及特第二號、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號、追第二號、追第三號等ノ諸案ゴザイマス、大體ニ於キマシテハ復興復舊ノ豫算額ガ大部分ヲ占メテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、而シテ大正十三年度ノ追加豫算ニ付キマシテモ繼續費ニ關スル部分ガ各號ニ計上サレテアルノデアリマスガ、今日、時日ノ切迫ニ於キマシテ之ヲ一々此處デ蛇足ヲ加フル必要ハ無イト考ヘマス、依テ大正十三年度追加豫算ノ總額ニ付テノミ簡單ニ御報告ヲ致シテ置キマス、即チ歲出二億六千五百七十萬圓、其内譯ハ經常部ニ於テ七千三百二十萬圓、臨時部ニ於テ一億九千二百四十萬圓デアリマス、歲入モ同ジク合計二億六千五百七十萬圓、其内譯ハ歲入追加ニ伴フ收入七百四十萬圓、租稅收入五千零四十萬圓、公債金一億五千七百十萬圓、前年度剩餘金繰入五千零五十萬圓、是ガ其内譯ゴザイマス、租稅ノ收入ニ付キマシテハ震災後ノ實蹟ニ鑑ミテ政府ニ於テハ適當ニ其見積ヲ増減シタ爲ニ差引五千四十萬圓ノ歲入増加ヲ來シテ居ルト云フ説明デアリマス、公債政策ニ付キマシテモ相當ニ政府ハ考慮サレタモノデアリマス、即チ一般會計ニ於テ二億四千九百九十萬圓、特別會計ニ於キマシテ……二億九千四百九十萬圓、之ヲ本年度ニアリマシテハ、一般市場ニ公募シマセヌデ、他ノ便宜ナル調達ノ途ヲ講ズルト云フコトニナリマシタ、是等ニ付キマシテモ大藏大臣ノ説明ガアリマシタ通りニ相當ニ用意ヲサレタモノト認メルノデアリマス、豫算委員會ハ十日ニ委員會付託ト豫算案ガ相成リマシテ、委員會ノ總會ハ十一日、十三日、十四日ニ互ツテ之ヲ開會シ、十五日、十六日ノ午前ハ各分科會ヲ開キマシテ、十六日ノ午後總會ヲ開イテ採決ヲ致シマシタ次第デアリマス、討論ヲ經テ諸案原案通り滿場一致可決ニ相成リマシタ、總會竝ニ分科會ニ於ケル質問應答ヲ一々御紹介申上ゲルト宜シイカモ知レマセヌガ、是モ矢張り時日切迫ノ際デアリマスカラシテ、單ニ其項目ヲ述ブルニ止メテ置キタイト考ヘマス、先ヅ祕密會ヲ開キマシテ對支問題、對米問題ノ應答ガゴザイマシタ、又教育問題ト致シマシテハ義務教育ノ延長、師道論、國民教育竝ニ之ニ伴フ所ノ師範教育ノ改善、高等學校ヨリ大學ヘノ入學難、延イテハ各學校ニ於ケル入學難ノ關係ニ付テ幾多ノ質問ガゴザイマシタ、特ニ神祇院設置ニ關シテノ意見ガ……質問應答ガゴザイマシタ、之ニ付キマシテハ政府ハ至極贊成デアルケレドモ議未ダ熟セザルト云フコトヲ以テ

實行ニ至ラヌケレドモ、其趣旨ハ頗ル贊成デアルト云フ答辯デアリマシタ、農村問題ニ付キマシテモ相當ニ質問應答ガゴザイマシタ、殊ニ小作對地主ノ問題、又家族工業ヲ如何ニスルカト云フ問題、延イテハ火災保險問題、助成金、地震火災等ノ問題、其他一般ノ國民ノ元氣振興ノ上カラ色々ノ質問モアリマシタ、續イテ内政ニ付キマシテハ復興問題ヲ主トシテ幾多ノ應答ガゴザイマシタ、陸海軍ノ問題ニ付キマシテハ先ヅ軍器改良問題、又陸海軍ノ航空統一問題、飛行機ノ統一問題、軍艦建設比率ト要塞ノ問題、石油ノ問題等、幾多ノ質問ヲ重ネマシタ、金融問題ニ付キマシテ亦質問應答ガゴザイマシタ、復興復舊ニ對スル政府ノ金融政策如何、是ヨリ延イテハ銀行及無盡ノ取締方法如何、一般關稅ノ改正等ニ付キマシテ問題ガ出タノデアリマス、交通ノ問題ト致シマシテハ鐵道ノ改良、擴張、何レガ其重キデアルカ、海運政策ハ如何、今日ノ日本ノ海運業ト云フモノハ頗ル振ハナイノデアアル、之ヲ此儘放任スレバ外國ノ海運業者ニ悉ク其利益ヲ占メラレルヤウナ狀況デアアルガ、之ニ對策ハ有ルカ否ヤト云フヤウナ質問モアリマシタ、電話民營ハ如何デアルトカ等ノ問題モアリマシタ、其他申シマスレバ數限リナイ重要ノ問題モアルノデアリマスルガ、此質問應答ニ付キマシテハ大略其邊デ打切ツテ置キタイト考ヘマス、次ニ討論ニ這入りマシタノデアリマス、討論ニ這入りマシテノ問題ハ無論、豫算諸案ヲ一括シテ議題ニ供シマシタガ、要スルニ政務次官、事務次官、是ガ討論ノ中心デアリマス、政府ノ説明ニ依リマスルト云フト今日政府委員ノ如キ者ガ百三十名モ居ル、議會ガ開カレルト云フト、是等ノ人々ハ本省ニハ居ラナイ、大臣次官始メ政府委員ハ悉ク議會ニ於テ奔走ヲシナケレバナラヌ爲ニ、事務ガ悉ク滯留ヲ免レヌノデアアル、此際ニ於テ政務ト事務トヲ分ケルト云フコトハ、所謂行政ノ運用ヲ圓滑ナラシムル所以デアアルカラ、此意味ニ於テ急速ニ此制度ヲ設ケナケレバナラナイト云フノガ主要ナル意味デアリマス、是ハ討論ニ相成リマシテ色々ノ點カラ論セラレタノデアリマス、先ヅ第一ニ質問方カラ申シマスルト云フト、政務次官ト云フモノト事務次官ト云フモノハ、其性質ニ於テ如何ナル相違ガアリ得ルモノデアアルカ、机上ノ空論トシテハ成程、政務ト事務トヲ分ケレバ一方ニ事務ガ專門ニナツテ、諸官省ノ事務ガ圓滑ニ行ハレルト云フヤウニ論理明晰デアアルガ如ク見エケレドモ、實際ニ於テ事務ヲ離レタル政務ガ出來ルモノデアラウカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ政務ニ通曉セズシテ……事務ニ通曉セズシテ政務ガ分ルモノデアラウ

カ、或ハ以前行ハレタ所ノ參政官ガアツタ時ニ局長次官ノ應援ナクシテ是ガ圓滑ニ行ハレタカドウデアアルカト云フヤウナ問題ニナリマスルト云フト、玆ニ聊カ疑ナキ能ハズデアリマス、次ハ量ノ問題、質ニ對シテ量ノ問題ト云フノハ今日政府ハ行政、財政ノ整理ヲ標榜シテ、之ヲ爲スニ必要ナリトシテ政務次官ノ設置ヲ主張セラルルノデアリマス、元來、行政財政ノ整理トハドウ云フモノデアリマセウカ、行政ノ整理ト云ヘバ局課ノ廢合デアルトカ、色々此水平的ニ其廢合ヲ考ヘテ何かシナケレバナラス、要スルニ消極的ノモノデアリマス、財政ノ整理モ是ト同ジク、其金高ヲ減ゼザレバ整理ト云フモノノ意味ハナイ、即チ量ニ於テ之ヲ消極的ニ減額スルト云フコトガ財政並ニ行政整理ノ主要目的デナクテハナラナイ、此際ニ於テ假令少額デアルトハ言ヘ、政務次官ヲ新設スルト云フコトハ消極的ノ目的ヲ有ッテ居ル行政財政ノ整理ニ全ク矛盾セルモノガ玆ニ加ハルノデアアル、要スルニ財政行政ノ整理ハ現狀ヨリモ其水平線ヲ低下スルト云フ所ニ意義ガアルノデアアル、然ルニ此豫算諸案ヲ見ルト云フト、此水平線ヲ下ゲルト云フコトニ付テノ具體的ノ箇條ハ少イノデアアル、而シテ具體的ニハ政務次官ト云フモノガ現ハレテ居ル、是ハ量ノ問題トシテ考ヘテ見タナラバ聊カ疑ヲ起スベキコトデハナカラウカ、次ハ時ノ問題デアリマス、今日此臨時議會ニ於テ之ヲ提出スルト云フコトガ可ナリヤ否ヤ、行政財政ノ整理ハ言葉デハ單純デアリマスケレドモ、要スルニ之ヲ實行スルコトガ出來ナイノデアアル、況ヤ之ヲ組織的ニ系統的ニ其廢合ヲ適宜ニシテ水平線ヲ低下スルト云フヤウナコトガ二箇月半デ出來ルカドウカ、是亦時ノ問題デアアル、其趣旨ニ於テハ良イ點モアルノデアアルケレドモ、此二箇月半ノ短日月ヲ以テ行政財政ノ整理ヲ一貫シテ實行シ得ルヤ否ヤ、疑ナキ能ハズ、恐ラク出來ナイデアラウ、然ラバ大鉞ヲ振フトカ、或ハ各省各局ニ於テ天引デ若干ノ金額ヲ減ズルト云フヤウナ天引論デ行カナケレバ出來ナクナルニ相違ハナイ、其場合ニ於テハ政務次官ガナクトモ天引ナラバ實行ガ出來ル、必シモ政務次官ノ如キモノヲ玆ニ用キズシテ可ナリデアアル、否、寧ロサウナレバ冗官ト同ジコトニナルデハナイカト云フ疑ガアルノデアリマス、次ハ獵官問題デアアル、果シテ是ガ獵官ノ問題デアアルカト云フコトハ勿論將來ノコトニハ屬シマス、併シ首相ハ此政務次官ノ問題タルヤ、十年來ノ宿論デアアル、是ハ本議場ニ於テ施政ノ方針ヲ演說スル中ニモ重大ナル條項、主義中ノ主義トシテ之ヲ述ベテ置イタノデアアルカラ、是ハ重大ナルモ

ノデアアル、決シテ獵官ヲ目的トスルモノデモナク、又結果トスルモノデモナイ、斯ウ云フ御説明デアッタノデアリマス、併シ是ニモ疑ガアルト思ヒマス、十年來ノ宿論ヲ今日ノ場合ニ於テ之ヲ提出サレルト云フコトハ如何ニモ主義中ノ主義ト御自覺ニナッタカラ爲サレタコトデアリマセウ、例ヘバ玆ニ袋戸柵ノ中ニ十年來、英國製ノ「ビスケット」ガ忘レテアッタトスルノデアリマス、二三ノ池ガ庭ニアリマシテ、其中ニ鯉ヤ鮒ヤ金魚ガ澤山居ル、不斷ハ金魚駄ヤ麵麩位ノモノヲ偶ニ與ヘラレタノデアアルガ、此英國製ノ「ビスケット」ガ十年來忘レラレタノガ、一時ニ之ヲ池ノ中ニ投入レラレタ場合ニハ如何デアリマセウ、不斷減多ニ食ベ付ケナイ、而カモ十年來ノ宿論デアッタト云フモノガ期待サレザル間ニ池ノ上ニ投ゲラレタナラバ、其結果ハ如何デアリマセウ、此結果ハ申上ゲル必要ハナイト思ヒマス、此獵官運動ガ將來ノコトニ屬シマスケレドモ、或ハ斯ノ如キ暗示ヲ我々ニ與フルモノニアラズヤト云フ疑ハ我我ニ起ルノデアアル、併ナガラ又一方カラ考ヘテ見マスト云フト、政府ハ主義中ノ主義デアアルトシテ之ヲ固執サレルニ相違ナイ、然ルニ今豫算委員會ニ於テ政務次官費ヲ削除スルニ於テハ豫算ノ性質ト致シマシテ不可分デアリマスカラシテ、之ヲ包含スル所ノ豫算ハ全部不成立ニ終ルモノデアリマス、是ハ我々ノ如何ニモ忍ビナイ所デアアル、此政務次官ト云フモノハ斯ノ如キモノデアアル以上ハ、通常議會ニ御出シニナッテモ、マダ十分ナモノデアアル、先程モ申シマシタ通りニ二箇月半ノ間ニ何等ノ仕事モ出來ナイ、其二箇月半ノ間ニ政務次官ガ居ラナケレバ行政財政ノ整理ニ差支ガアルト云フコトノ問題デアリヤ否ヤト云フコトヲ考慮シテ見ルト、又此消極的ノ方策トシテノ行政財政ノ整理ト相伴ハザル政務次官ト云フモノハ全ク分離シタル別箇ノ問題トシテ取扱フベキモノデアアルト云フ方面カラ見マスルト云フト、是ハ如何ニモ我々ノ満足スルコトノ出來ナイ點ヲ餘計ニ含シテ居ルモノト見ナケレバナラスノデアリマス、併シ唯今申シマスル通り、時日逼迫ノ際デモアリ、豫算ハ不可分ノモノデアアルト云フコトデモアリ、且又今日ノ時局ニ鑑ミテ是ガ不成立ニナルト云フコトハ忍ビナイノデアリマス、幸ニシテ首相始メコノ政務次官ノ問題ニ付キマシテハ十分ナル確信ガアルト云フコトデアリマス、又一委員ヨリハ特ニ此次ノ帝國議會ノ開カレタ場合ニ於キマシテ、此二箇月半ノ間ニ相當ノ成績ヲ擧ゲナカッタ際ニ政府ニ質問スル場合ニ於テ、政府ハ時ガ足ラナカッタカラ事玆ニ及バザリシト云フ答辯ダケハ、其時ニハナサラスコトヲ期待ス

ルノデアルト云フ意見モアツタノデアリマス、斯ノ如キ状態デアリマスルノデアリマスルガ、先ヅ御手並ヲ拜見スル、兎ニ角、事將來ニ屬スルノデアルト云フコトデ、討論ガ打切りニ相成ツタデアリマシテ、此豫算諸案ハ、其他ノ問題ニ付テハ討論ニ於テ論議セラルルコトナク、全部滿場一致ヲ以テ可決ニ相成ツタデアリマス、希望條件ガ二ツゴザイマス、即チ第三分科ノ中文部ノ所屬ニ關スルコトデアリマス、ソレヲ朗讀イタシマス、師範教育及視學制度ノ改善充實ハ目下ノ急務ナリト認ム政府ハ速ニ是方施設ニ努メラレムコトヲ望ム、第五分科ノ希望條件ヲ朗讀イタシマス、政府ハ小作調停法ノ實施ニ當リ小作官並小作官補ノ任用ニ關シ特ニ深甚ナル注意ヲ拂ハレムコトヲ望ム、斯ノ如キ經過ヲ以テ豫算委員會ハ昨日終了イタシマシタ、右ヲ以テ御報告ヲ終リマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告ニ依リマシテ中川男爵ニ質疑ヲ許シマス

〔男爵中川良長君演壇ニ登ル〕

○男爵中川良長君 今日、貴族院改革ノ問題ハ眞ニ囂々タル所ノ輿論トナツテ起ツテ居ルノデゴザイマス、殊ニ衆議院ニ於ケル所ノ憲政會、政友會、革新俱樂部ニ於キマシテハ、代議士會ニ於キマシテ貴族院改革ノ急務ナルコトヲ認メテ、是ガ建議案ヲ提出スルコトノ決議ヲ致シ、明日ニ於キマシテ、衆議院ノ日程ニ上程サレト云フヤウナル域ニマデ進行シテ居ル重大ナル問題デアリマス、是レ實ニ貴族院ト致シマシテハ重大ナル問題デアリマシテ、眞ニ大ナル注意ヲ拂ツテ、自ラ三省三思シナケレバナラス時機ニ到達シテ居ルデアリマス、此時ニ當リマシテ貴族院改革問題ニ付テ、總理大臣ニ對シ如何ニ貴族院問題ヲ處理サレカト云フコトノ御意見ヲ伺ヒタイト云フ爲ニ、會期ノ切迫シテ居ル今日ニ拘ラズ、眞ニ一步ヲ誤ルナラバ我が帝國ノ重大ナル結果ガ國內ニ起ルト云フコトヲ憂慮スルノ一念ヨリ、貴重ナル時間ヲ割イテ首相ノ明快ナル御答辯ヲ希フ次第デゴザイマス、近時、我國ニ於キマスル政變ガ屢々起リマシテ、眞ニ政界ノ安定スルコトヲ見ルノガ甚ダ不安ナ状態デアリマシテ、是ハ四圍ノ情況上已ムヲ得ナイコトデアラウトハ考ヘマスルケレドモ、眞ニ平和的ニ、秩序的ニ我が國策ヲ樹立スル所ノ觀念カラ言ヒマスルト、眞ニ國家ノ大局ヨリ、誠ニ慨嘆ニ堪ヘナイ次第デアアルノデゴザイマス、故ニ私ハ眞ニ有力ナル所ノ立憲内閣ガ樹立イタシマシテ永ク之ガ永續ヲ致シ

テ、而シテ之ニ依ツテ秩序的ノ國家大根本ノ政策ヲバ確立スルト云フコトヲバ衷心我が帝國ノ前途ニ對シテ熱望シテ已マヌ次第デアアルノデゴザイマス、今日現内閣ハ、全國的輿望ヲ荷ヒマシテ、三黨首ガ入閣ヲ致スト云フヤウナル状態デアツテ、實力ニ於キマシテ、背景ニ於キマシテ、將又輿望ニ於キマシテ、何等間然スル所ノ無イ所ノ状態デアアルデアリマス、斯ノ如キ所ノ立場ニアル所ノ内閣ト云フモノハ、更ニ得ムトシテナカク、困難デアアル程ノ状態ナリト私ハ考ヘルノデアリマス、故ニ此内閣ニ對スル所ノ國家的使命ノ重大ナルト云フコトヲ一層確認サレムコトヲ切望シテ已マナイノデアアル、而シテ是亦國民ノ熱誠ナル聲デアリ、熱誠ナル要求デアアルト信ズルノデアリマス、翻ツテ我國ノ現狀ハ如何デアリマスルカ、外ハ國難ノ襲來シテ居ル所ノ今日ノ状態デアリマスルガ、我が國內ハ果シテ如何ナル状態デアアルカト申スナラバ、各般ニ互リテ殆ト行詰マリノ状態ニ至ツテ居ルト云フ有様、此行詰マリノ情況ニ對シマシテハ、大革命ノ斷行ヲ致シ、人心ヲ新ニ致シ、而シテ茲ニ國家ノ正氣ヲ振興シナケレバナラスト云フ重大ナル時機ニ當ツテ居ルノデアアル、故ニ國民ガ激成ノ勢ニナルニ先ダチマシテ、社會ノ缺陷ノアル所ヲ改善ヲ致シ、不當ナル制度アレバ革新ヲ致シマシテ、此時代ノ進運ニ副フ所ノ平和的進歩ノ上ニ一大英斷ヲ爲スト云フコトノ切要ナルノ感ズルノデアリマス、吾人ガ現内閣ノ成立ニ當リマシテ、國民ト共ニ雙手ヲ舉ゲテ國家ノ爲ニ祝福シタ所以ハ、現内閣ガ眞ニ國家ノ禍根ヲ一掃イタシ、國家の大見地ニ立チマシテ、眞ニ勇往邁進サレルコトヲバ期待シタカラデアアルノデアリマス、國民ノ要望ハ内閣ノ眞劍ニアアルノデアアル、内閣ノ眞劍ナル所ハ、即チ國民ノ共ニ眞劍ナル所デアリマス、茲ニ至ツテ始メテ協力同心ヲ致シテ、我が帝國ノ前途ニ光輝アル所ノ大局面ヲ打開スルコトガ出來ルト信ズルノデアリマス、今ヤ衆議院ノ選舉法ハ度々改正ヲサレマシテ、時代ニ副フガ目的カラシテ、來ル議會ニ於キマシテハ普選斷行ノ域ニマデ進行スルト云フコトハ、眞ニ我が憲政ノ爲ニ雙手ヲ舉ゲテ祝福ヲシナケレバナラスノデアリマス、然ルニ是ト兩輪ノ如ク、是ト兩翼ノ如クシテ、共ニ時代ノ推移ニ適合セナケレバナラス所ノ貴族院令ハ果シテ如何デアアルノデアアルカ、明治二十二年ニ制定セラレマシテ今日マデ三十有六年ヲ經テ、改正ヲサレマシタル點ハ單ニ有爵議員ヲ増加スルト云フコトニ於テノミ改正サレタノデアアル、而シテ其實質ニ於テ、根本ニ於テ、何等時代ニ副フ所ノ改正ト云フモノガ行ハレナイト云

フコトガ、如何ニ時代ニ逆行シテ居ル所ノ法令デアアルカト云フコトハ喋々ヲ要セナイ所デアアル、其内容ニ付テ一々言フナラバ、是亦日モ足ラズデアアリ、既ニ我が所論ハ公開サレテ居ル所ノ雜誌其他ニ於テ發表ヲシタ次第デアリマスルガ、吾人ハ一切ノ感情、一切ノ情實ヲ抛チマシテ、我が議會制度ヲ完成スル所ノ上カラシテ、我が立憲政治ヲシテ有終ノ美ヲ濟サシムル所ノ上カラシテ、是ガ改正ノ急務ヲ熱叫シテ已マヌノデアリマス、而カモ國民ガ激成ノ勢トナルニ先ダツテ是ガ改正ヲ斷行スルコトガ眞ニ平和的ニ社會ノ進展ヲ來タス所以デアリマシテ、是ガ貴族院議員ト致シテモ、華族ノ一人ト致シテモ、將又一國民ト致シマシテモ、眞ニ國家報効ノ大使命ナリト信ジテ疑ハヌノデゴザイマス、固ヨリ今日ニ於キマシテハ、殊更攝政治下ニ於キマシテ憲法ニ觸ルルコトノ能ハザルハ、是レ苟モ貴族院改革ヲ論ズルモノニシテ、其感ナキ者ハ一人モ無イノデアアル、憲法ニ觸レザル所ノ範圍ニ於テ之ガ改正ヲ爲スト云フコトハ、是レ論ヲ俟タナイ所デアリマス、今日ニ於キマシテハ既ニ前申シマシタルガ如クニ、衆議院三派ハ建議案トシテ明日上程ヲスル、此運ビニマデ進ンデ居ルト云フコトハ、即チ是ハ國民要望ノ結晶デアアルノデアリマス、國論一定ノ表象デアアルノデアリマス、斯ノ如クニ衆議院ガ秩序的ニ取扱ッテ居ル間ニ、早ク政府ハ是ガ實行ニ著手サレマシテ、秩序的改正ノ時機ヲ誤ラザラムコトヲ熱望イタスノデアリマス、一旦秩序的改正ノ時機ヲ誤リマスナラバ、其勢ノ赴ク所、國民ノ勦忍袋ハ破レテ、遂ニ測リ知ルベカラザル所ノ勢トナツテ現ハレルト云フコトヲ衷心國家ノ爲ニ憂フルノデアリマス、是ハ貴族院ノ爲ニ却テ取ラザル所デアアル、政府ハ此時勢ノ趨ク所ノ大勢ニ洞觀サレマシテ、眞ニ國家ヲ救ヒ、憲政ヲ救ヒ、貴族院ヲ救フ所ノ大精神ヨリシテ、是ガ改正ニ急速ニ進行セラレムコトヲ熱望シテ已マヌ次第アルノデアリマス、本來、貴族院改正ノ如キハ、貴族院自ラ自發的ニ出ヅベキ所ノモノデアリマス、殊ニ貴族院令第十三條ニ於キマシテ、貴族院改正ハ貴族院ノ同意ヲ要スト云フコトガ規定サレテアルノデアアル、是レ果シテ何事ヲ言フノデアリマスカ、貴族院ハ時代ノ推移ヲ達觀シテ、國家ノ大局ヨリシテ改正スベキモノハ輿論ニ先ダツテ自ラ改正スルノ明アリ、輿論ニ先ダツテ自ラ棄ツベキ所ノ權利ハ棄ツル所ノ能力アルト云フコトヲ前提トシタル所ノモノデアアル、然ルニ此條項ヲ金科玉條トシ、之ヲ楯ニ執ッテ、權利擁護ノ爲ニ汲々トスルナラバ、是ハ社會的ノ紛糾ヲ起シテ、遂ニ強制壓迫サレテ……

〔ヒヤ〜〕ト呼フ者アリ

已ムヲ得ナイコトニ至ルト云フコトヲ信ジテ疑ハヌノデアリマス、然ルニ現今貴族院令改正ノ輿論ハ高調ヲ致シ、既ニ明日衆議院ニ於テ國論一定ノ表現トシテ現ハレムトスル此今日ニ當ッテ、マダ貴族院改正ハ、一部學者ノ理想論ナリト云フ輩ガアルニ至ッテハ、是レ何タル者デアアルカ、況ヤ大會派ノ勢力ヲ打破スル所ノ是ガ或ル感情論デアアルナドト多寡ヲ括ルニ至リマシテハ、眞ニ慨嘆ニ堪ヘナイノデアアル、衆議院ニ於キマシテ建議案ノ出タノハ今日初メテデハナイデアリマス、大正十二年ノ三月ニ於キマシテハ、政友會代議士山口義一氏外七名ヲ以テ貴族院令改正ニ關スル建議案ハ提出ヲサレ、而シテ是ハ議場ニ於テ此趣旨ヲバ徹底的ニ述ベラレテ居ルノデアアル、會期切迫ヲ致シタ爲ニ遂ニ委員會ヲ開クノ違ナカリシト雖モ、既ニ早ク衆議院ニ於テハ民論ノ趨ク所、遂ニ建議案トシテ昨年ニ於テ提出サレテアルト云フコトハ、是レ吾人ガ念々忘ルベカラザルコトニシテ、今日初メテ大會派打破ノ目的トシテ起ッタノデナイト云フコトニ沈思默考シナケレバナラヌノデアリマス、尙ホ又貴族院改革ニ向ッテ言論ヲ致スト云フコトハ、貴族院ニ對スル挑戰デアアルト云フヤウナル感ヲ持タレルニ至ッテハ、是亦實ニ殆ド其見當違ヒヲ驚カナケレバナラヌノデアリマス、貴族院令ニ於テ不條理ナル所、時代ニ副ハザル所ノアルノハ明々白々タル所ノ事實デアアル、然ルニモ拘ラズ是ガ改正ニ進マズシテ、憲政完美ノ進運ヲ妨ゲナガラ、是ガ進運ニ向ハムトスル所ノ大精神、而シテ國民激成ノ勢トナル所ヲバ未然ニ防ガムトシテ、貴族院改革ヲ以テ立ツ所ノ聲ヲバ、是ガ貴族院ニ對スル挑戰ナリト云フニ至ッテハ、眼中如何ニ此國家前途ノ紛糾ヲ考ヘラレルノデアアルカ、眞ニ痛嘆ノ至リニ堪ヘナイ次第デアリマス、殊ニ今日衆議院ニ於テ建議案トシテ提出サレルト云フ此狀態ヲ見テ、貴族院ニ對スル單ナル餘計ナ御世話デアアルト云フガ如キ茲ニ反感的言動ヲ爲スト云フニ至ッテハ是レ深ク自ラ退イテ考慮シナケレバナラヌ問題デアリマス、貴族院制度ノ不適當ナルコトガ其弊ノ及ブ所、貴族院内部ニ止マルナラバ何ヲ以テ國民之ニ干渉セム、何ヲ以テ國民ノ代表タル衆議院之ニ干渉セム、貴族院ハ國民ニ重大ナル關係アル所ノ地租外諸稅ヲ論究スル所デ、而モ偉大ナル權利ヲ與ヘラレタル所ノ議政ノ府デアアル

〔質問ノ要旨ヲ述ブベシ〕ト呼フ者アリ

然ルニ今日左様ナ點ニ思ヒ及ハズシテ、是等ノモノガ單ニ自己ノ權利擁護ノ

爲ニ、貴族院内部ノコトニミ言及シ、内部ノ權利ヲ防禦スルコトニノミ没頭スルニ至リテ、今日衆議院ノ諸君ガ建議案トシテ提出サレタ所ノモノハ、貴族院ガ眞ニ諸案ヲ議スルニ當リテ、貴族院制度ノ弊害ノ及ブ所ト云フモノハ直接國民ニ影響スルノデアル、貴族院制度ノ不備ハ即チ國民ノ迷惑デアアル、此國民ノ迷惑ハ即チ國民ノ代表タル所ノ衆議院ガ起テ改正ニ邁進スルト云フコトハ、國民代表ノ當然ノ權利デアアルノデアリマス、然ルニ此國民ノ當然ノ權利ヲバ顧ミズシテ、自ら進ンデ輿論ニ先ダチ、改革スルコトガ遅レタルガ爲ニ隱忍ニ隱忍シタ國民ハ遂ニ我慢スルコト能ハズシテ、今日ハ秩序的ニ衆議院ノ建議案トシテ、貴族院ニ肉迫ラシテ居ルノデアル、之ヲ責ムルコトナクシテ自ら輿論ニ先ダチテ改革セザリシ所ノ罪ヲバ悔悟スベキデアルト信ズルノデアリマス、斯ノ如キ所ノ重大ナル今日ノ時機ニ當リテ居ルノデアリマスカラ、政府ハ進ンデ是ガ改正ノ途ニ猛進セラルルト云フコトガ眞ニ貴族院ヲ救ヒ、國家ヲ救ヒ、憲政ヲ救フ所以ナリト信ズルノデアリマス、故ニ政府ハ速ニ改正案ヲ作成サレテ、議會ニ提出セラレルカ、然ラズンバ權威アル所ノ調査機關ヲ設置サレマシテ、急速ニ貴族院改革ノ實ヲ舉ゲルコトニ全幅ノ努力ヲ傾注サレルコトガ、眞ニ此時局安定ノ唯一ノ途デアルト信ジテ疑ハヌノデアリマス、殊ニ貴族院ヲ最モ毒シツアル所ノモノハ互選議員ノ連記制デアアルノデアリマス、此連記制アルガ爲ニ、二三銓衡幹部ノ意嚮ヲ忖度スルノ餘リハ貴族院議員ノ言論ハ自由ヲ失シ、而シテ貴族院議員ノ生氣ヲ失ヒ、其盲從の行動ト云フモノハ貴族院ヲシテ權威ナカラシメ、而シテ國民ノ怨府トナラシメルノハ、眞ニ此點ニアルノデアリマス、此連記制ト云フモノヲバ破壊スルト云フコトガ即チ議員ヲシテ自由ニ言動セシメ、議員ヲシテ生氣アラシメ、議院ヲシテ眞ニ權威アラシメル所ノ捷徑デアルト信ズルノデアリマス、連記制ノ弊害ハ、今日我々ガ此處ニ喋々スルマデモナク、我が貴族院ニ於キマシテモ、明治四十三年ノ三月ニ於テハ當時議員タリシ所ノ、曾我祐準子爵ノ發議ヲ以テ、二條公外三十九名ノ賛成ヲ以テマシテ、連記制ヲ破壊スル目的ヲ以テ、建議案ト云フモノヲ提出サレタノデアリマス、而シテ委員ニマデ付託サレ、委員會ハ一回之ヲ開會イタシマシタガ、遂ニ會期切迫ノ爲ニ、第二回ヲ開クコト能ハズシテ其儘ニナツテ居ルト云フ状態デアアル、連記制ノ及ボス所、其弊害ノ大ナリト云フコトハ早クモ明治四十三年ニ於テ痛切ニ感ゼラレテ、而シテ是ガ建議案トシテ出テ居ルコトハ、實ニ如何ニ連

記制ニ對シテ改正ヲ要求スル所ノ聲ガ盛ンナリシカラ推察シテ餘リアルノデアリマス、而モ此連記制ハ單純ナル所ノ勅令ヲ以テ廢止スルコトガ出來ル所ノ法案デアアル、勅令デアアルノデアリマス、故ニ政府ハ直截明確ナル所ノ英斷ヲ以テ、此貴族院積年ノ弊害ノ存スル所ニ適當ナル斧鉞ヲ加ヘラルルト云フコトハ、即チ憲政ニ貢獻スル所ノ偉大ナル第一歩デアルト信ズルノデアリマス、凡ソ國家ノ大局ヨリ致シマシテ眞ニ切要ナル問題デアラナラバ、其確信ヲ以テ貴族院會派ノ意嚮ヲ忖度ラシテ躊躇逡巡スベキモノデハナイ、幾度ビ貴族院ノ反對ガアツテモ、之ヲ斷行スルノ途ニ邁進セナケレバナラヌ、殊ニ今日ノ如クニ我が帝國ノ更始一新、大正維新ヲ以テ、眞ニ意義アル國民的改正ヲ實現シナケレバナラヌ今日ニ於キマシテハ、實ニ此大精神ト云フモノガ、國家ヲ生カシ、社會ヲ生カシ、憲政ヲ救ヒ、貴族院ヲ生カス所ノ鐵條ナリト信ジテ疑ハヌノデアリマス、然ルニ此有力ナル所ノ背景ヲ有タレル所ノ内閣ニシテ貴族院ノ向背ニ齟齬ヲ致シ、貴族院會派ノ御氣ニ召スダケノ政治ヲヤルト云フノナラバ、實ハ帝國議會ハ二院制度デアアルケレドモ、實質ハ貴族院一院政治デアアル、斯ノ如クンバ貴族政治ノ再來デアアル、曩ニ貴族内閣ヲバ攻撃シ、之ヲ倒潰シテ起ツタ所ノ三派聯立内閣ト云フモノガ、手ヲ携ヘテ貴族政治ニ屈服セムトスルモノデアアル、是レ國民深憂ノ聲デアリマス、斯クナレバ何レノ時ニカ憲政ヲ確立スルノデアリマス、立憲ニ覺醒シテ居ル所ノ國民ノ肚裡ハ果シテ如何デアリマス、現内閣ニ最モ深ク期待ヲ有シテ居ル所ノ誠忠ナル國民ノ失望ハ果シテ那邊ニ進ラムトスルノデアリマス、斯ノ如クニシテ意義アル所ノ革新ヲ放任サレ、七千萬國民ノ正義ノ怒リヲ激成セシメルト云フコトハ、我が帝國ノ大局ヨリ見テ、眞ニ不幸ノ極ミデアルト云フコトヲ痛切ニ感ジテ已マヌノデアアル、今ヤ既ニ國論ノ歸一スル所ノ今日ニ於キマシテ、社會平和ノ爲ニ、憲政確立ノ爲ニ一切ノ情實ヲ抛チ、眞ニ我が議會制度ヲ完備スル所ノ觀念ニ進ミ、憲政有終ノ美ヲ濟サシムル大精神ニ邁進セラレテ、コノ貴族院大改革ニ向ツテ明快ナル英斷ヲ下スコトガ、眞ニ我が帝國ノ政治ヲ安定スル所以ナリト信ズルノデアアル、之ニ對シマシテ總理大臣ノ明確ナル所ノ御答辯ヲバ、此重大ナル時局、一步誤ルナラバ不幸ナル、我が帝國ハ望マザル所ノ不祥ヲ見ルト云フコトヲバ痛憤スルノ餘リニ、此壇上ニ御答辯ヲ煩ハシタイ

〔國務大臣子爵加藤高明石壇壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵加藤高明君) 唯今、中川男爵が長時間ニ亙ッテ貴族院改正ニ關シテ、種々ノ方面カラ御論述ニ相成リマシタ、其御陳述中ニ示サレタル御熱心ニ對シテ、私ハ深キ敬意ヲ表スル者デアリマス、而シテ貴族院改善ト云フコトニ對シテ如何ナル考ヲ有ッテ居ルカト云フコトガ御尋ノ一點ト思ヒマスガ、此事ニ關シテハ既ニ過日、此演壇ニ於テ申述ベマシタル通り、憲法制定ノ精神ニ鑑ミ、時代ノ要求ヲ參酌シテ十分ニ研究考慮ノ末ニ善處スルト云フコトヲ申上ゲタ、サウ云フ考デアルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、其答辯以外ニ今日加ヘルコトハアリマセヌ、先日申上ゲタト同ジ答ヲ繰返スニ過ギマセヌ、之ニ依ッテ御承知ヲ願ヒタイ

○男爵中川良長君 唯今、總理大臣ノ御答辯ヲ得マシタガ、今日ハ眞ニ貴族院改革ニ關シテ、輿論囂々トシテ起リ、之ヲ誤リマスルナラバ國家ノ前途甚シイ不祥アルコトヲバ眞ニ憂フルノ餘リニ、此貴重ナル時間ニモ拘ラズ質問ヲ致シタノデアリマスルガ、唯今ノ御答辯ニ依リマスレバ、施政方針ニ述ベタルコトヲバ更ニ印刷デ御出シニナッタ如キ感ガシマシタ、何等茲ニ新面目ヲ現ハシテ居ラナイ、當時施政方針ニ述ベラレマシタ時ニ於キマシテハ、今日マデニ輿論ノ嚴肅ナル現ハレト云フコト、閃キト云フモノハ無カッタノデアリマス、今日ハソレヨリ愈々進ンデ一日ト此熱ハ白熱シテ參リ、茲ニ秩序のニ進行スル途ト致シマシテ、衆議院ニ建議案モ明日上程セラレル場合デアアル、其裏面ハ即チ國民皆熟シテ居ル所ノ事ヲバ秩序的ニ衆議院ガ代表シテ取扱フト云フ譯デアアル、茲ニ於キマシテ政府ハ眞ニ眞劍ニ此問題ニ向ッテ邁進セラレナケレバ、是レ實ニ我が帝國ニ大ナル不祥事ヲ起シ、此政局ニ大ナル暗影ヲ投ズルモノニアラズヤト云フコトヲ衷心心配ニ堪ヘナイノデアリマス、故ニ總理大臣ハ今日研究ヲ致シテ善處スルト云フコトデアリマスガ、研究ヲセラレテ、是ガ調査會ナリ、或ハ成案ナリヲ作ラレル所ノ御見込デアリマスカ、眞ニ國民ノ要望ニ對シテ、眞ニ安心ヲスル所ノ、時代ヲ安定セシムル所ノ御答辯ヲ要求イタシタイノデアリマス

〔國務大臣子爵加藤高明君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵加藤高明君) 再度ノ御質問デゴザイマスガ、唯今申上ゲタ外ニ申上グル事柄ハアリマセヌ、委員會ヲ拵ヘルトカドウト云フコトノ御尋モアリマシタヤウデスガ、是等ノコトモ慎重ニ考慮イタシマシテ、サウ云フコトニナリマスカナリマセヌカ、是亦深く考究スベキ事柄デアリマス、而シ

テ他ノ議院ニ於テ建議案ガ出ルカラ云々ト云フコトヲ屢々御述ベニナリマシタガ、若シ政府ニ對シテノ建議デアリマスレバ、之ニ對シテ相當ノ敬意ヲ拂ッテ、深キ熱慮ヲ下スト云フコトハ固ヨリ當然ノコトデアラウト思ヒマス、唯今其建議ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フコトハ此議院ニ於テ御答ヘスル必要ハナイカト存ジマス、詰リ最前申上ゲタコトヲ繰返スニ過ギマセヌ

○男爵中川良長君 衆議院ノ建議案ニ對シテ、出スカ出ナイカ分ラナイ建議案ニ對シテ答辯ヲスルコトハ出來ナイト云フノハ是ハ御尤モデアアル、私ガ亦問ハムトスル所デアリマセヌ、今日現内閣ノ成立スル所ノ背景ニ於キマシテハ、此貴族政治ト云フモノヲ打破セムトスル所ノ大ナル所ノ目的ニ向ッテ共鳴シテ立ッタル所ノ背景ガアルノデアリマス、即チ此貴族院ノ弊害、制度ノ弊害ト云フモノノ偉大ナル所ノ點カラシテ茲ニ國民的結束ト云フモノニ依ッテ生レ出タル所ノモノデアッテ、此背景ニ於キマシテハ何人モ此貴族院ノ制度ヲ革新ヲ致シ而シテ先般起ッタル如キ貴族政治ノ弊ノ再ビ起ラヌヤウニ熱望シテ居ル所ノ、コノ蔽フベカラザル結晶ト云フモノガ、即チ現内閣ヲシテ立タシムル所ノ重大ナル背景デアルト云フコトハ國民皆疑ハザル所ノ點デアルト考ヘマス、此大ナル所ノ背景ヲ有シ、此大ナル所ノ憲政ニ目覺メタル所ノ、此正義ノ觀念ニ燃エタル所ノ國民ヲ背景トシテ立ッタル内閣ガ、即チ此國民ノ背景ニ副フ所ノ眞ニ意義アル……貴族政治ノ弊ヲバ再ビ無カラシムルト云フ途ニ猛進ヲセラレルト云フコトハ、是レ實ニ現内閣ノ大ナル使命ニシテ、而シテ是ガ憲政ヲ救ヒ、社會ヲ安定スル所ノ正義ノ進ミデアルト信ズルノデアリマス、故ニ私ノ希フ現内閣ノ大ナル使命トスル所ノ、眞ニ此貴族政治ノ再來ト云フコトニ大ナル打撃ヲ加ヘルト云フコトハ論ズルマデモナイ、依テ以テ起ラムトスル所ノ貴族制度ニ過チアル所ヲバ改善スルト云フコトハ眞ニ大ナル使命デアルト信ズルノデアリマス、此大ナル使命ニ向ッテ國民ハ大ナル期待ヲ有シテ居ルノデアリマスカラ、此内閣ニシテ眞ニ此目的ニ向ッテ邁進セラレザルニ於テハ、眞ニ國民ノ期待ト云フモノハ裏切ラレ、國民ノ進歩ト云フコトニ大ナル缺陷ヲ生ズルト云フコトノ結果ハ、實ニ我が帝國ニ大ナル不幸ヲ見ルコトヲ悲シム次第デアリマス、此情勢ニ鑑ミテ眞ニ善處セラレル適當ナル考究ヲシテ、之ニ適當ナル途ヲ講ズルト云フ其御言葉ハ、眞ニ急速ニ國民ノ激成ノ聲ヲシテ起ラザルニ先ダチマシテ處置セラレルコト考ヘマス

○議長(公爵徳川家達君) 中川男爵ニ伺ヒマスガ、唯今ノ總理大臣ノ御答辯ニ對シテ更ニ質疑ヲサレルノデアリマスカ……議長ハ御意見ヲ御述ベニナルバカリト思ヒマスカラ御注意ヲ致シマス

○男爵中川良長君 質問ノ繼續デアリマス、唯今申述ベマシタル所デ、丁度質問ノ終結ニ際シテ、偶々議長ノ御注意ガアリマシタ、ソレニ對シテ總理大臣ノ御答辯ガアリマスレバ、更ニ御尋イタシマス、眞ニ國家ヲ憂ル所ノ念慮ヨリ急速ニ之ニ邁進セラレルコトヲ更ニ希望イタシマス

(男爵阪谷芳郎君發言ノ許可ヲ求ム)

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ハドウ云フコトヲ……

○男爵阪谷芳郎君 豫算委員長ニ質問ガアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 質問デスカ

○男爵阪谷芳郎君 ハイ

○議長(公爵徳川家達君) チョット御待チテ願ヒマス、總理大臣ガ今答辯ニナリマスナラバ、ソレガ濟ンデカラ……總理大臣ハ答辯ハ爲サラヌサウデス、阪谷男爵

○男爵阪谷芳郎君 簡單デゴザイマスカラ……豫算委員長ノ御丁寧ナ御報告ニ對シテハ敬意ヲ表シマスガ、末段ニ御述ベニナリマシタ政務次官ニ關シマスル事柄ニ付キマシテ、委員長一個ノ御意見デアッタノデハナイカト云フ疑ガ起リマシタ、私ハ昨日總會ニ居リマシタガ、總會ニ於キマシテハ何等討論ニ入りマシテカラ議論ハゴザイマセヌ、唯柳澤伯爵ト福原男爵ヨリ政務次官ニ多少異議ハアルガ、枉ゲテ此際賛成スルト云フヤウナ意味ノ御説ガアッタノデアリマス、ソノ時ガドウトカ、數ガドウトカ、量ガドウトカ、英國カラ輸入シタ「ビスケット」トカ云フヤウナ御説ハ聽カナイヤウニ存ジマスカラ、或ハ本員ガ缺席イタシテ居リマシタ間ニ、サウ云フ説ガアッタノナラバ、本員ハソレデ満足イタスノデアリマスガ、ドウモ他ノ同僚モ聽カナカッタト云フ人ガアリマスカラ、ソレ等ハ委員長ガ經過ヲ述ベルト云フ御言葉ニ對シテハ少シク違ッテ居ハシナイカ、後ノ例トモナリマスコトデスカラ、委員長一個ノ御意見デアッタカドウカト云フコトヲ一ツ確メテ置キタイ

○伯爵林博太郎君 唯今、阪谷男爵カラ討論ノ際ニ於テハ時デアルトカ、數デアルトカ云々ノ事柄ハ討論ニ無カッタヤウデアルト云フ御話デゴザイマシタ、私 質問ヨリ討論ニ移ッテ採決ヲシタト云フコトヲ申上ゲマシテ、全部ヲ

一括イタシマシテ、質問ニ於テモ尙ホ分科會ノト總會ノト皆之ヲ一括シテ申上ゲタノデアリマス、柳澤伯爵ノ質問ノ中ニハ、ソノ時ノ問題ハアッタノデアリマス、尙ホ又量ノ問題モアッタト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、ソレヲ一括シテ私ガ總括シマスカラ、是ガ時デアルトハハッキリハ申上ゲラレマセヌガ、之ヲ纏メマスノハ私ガ自分デ自由ニ纏メ得ルコトト考ヘルノデアリマス、併シ柳澤伯爵ノ質問ダケヲ……討論ノ内容ダケヲ以テ、私ハ委員會ノ意見トシテ申上ゲタト云フコトハ、餘リ少カラウト云フ考ヲ有ッテ居リマス、獵官運動竝ニ政務次官竝ニ事務次官ノ質ノ相違云々ト云フコトニ付キマシテハ、總會ニ於テ明瞭ニ其御名前ハ申上ゲラレマセヌガ、必要ナラ申上ゲテモ宜シイト思ヒマス、私ハ確ニ聽取ッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此政務次官竝ニ事務次官ト云フ二ツノ概念ニ付キマシテノ意見ノ内容ヲ綜合スル意味ニ於キマシテ私ハ述ベタ次第デアリマス、其點ハ御答ヲ致シテ置キマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ他ノ委員會モアリマシテ、時々缺席イタシマシタカラ、唯今委員長カラ全部委員ノ述ベタコトデアルト云フコトデアリマスレバ、ソレデ満足イタシマス、本員ハ承ハラナカッタヤウニ思ヒマスノデ御伺ヒ致シタ譯デアリマスガ、尙ホ速記録ヲ調べテ見マス

○土方寧君 後段ノ政務次官ニ付キマシテ政府ニ、二三簡單ナコトデアリマスカラ、此席デ質問ヲ御許シテ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○土方寧君 政務次官ヲ新設サレテ從來ノ次官ヲ事務次官トシテ内閣更迭毎ニ迭ルト云フコトガ無イヤウニシヤウト云フ御趣意デアレバ賛成デアリマス、サウ云フ御趣意デアリマスレバ、現在ノ所デハ次官ノ外、内閣書記官長、法制局長官、内務省警保局長、警視總監、是ハ殆ド内閣ノ更迭ト共ニ迭ルノガ例ニナッテ居リマス、其中、書記官長ハ別デアリマスガ、外ノ者ハ純粹ノ事務官デアリマシテ、ソレハ内閣ガ迭ッテモ變動セヌガ宜シイト思ヒマス、又知事ナドモ随分迭ルヤウデアリマス、是モ宜シクナイト考ヘマス、ソコデ私ガ伺ヒマスノハ政務官トナッタ以上ハ、普通ノ次官、法制局長官、警保局長、ソレカラ警視總監、知事ト云フヤウナモノハ、是ハ文官任用令ニ依ッテ資格アル者ヲ任用ニナッタノデアリマスカラ、採ッタ上デ成ルベク變動シナイヤウニシタイト思ヒマス、モウ一ツ伺ヒタイノハ行政官デアリマスガ、所屬長官ノ許可ヲ得レバ衆議院議員ノ候補ニ立ツコトガ出來ルト云フコトニナッ

テ居ル、以前ハ餘リ多ク例ノ無イコトデアリマス、前内閣ノ時ニ、總選舉ノ時ニ次官ナド候補ニ立ツタ、或ハ他ノ候補ノ選舉區へ應援演說ニ行ツタ、中ニハ長官ノ許可ヲ得ナイデ行ツタ者ガアリマス、ソレハ正ニ懲戒免官ニサレベキモノト思ヒマス、サウ云フコトガアツテハ事務官ト云フモノノ職務ガ舉ラヌト思ヒマス、知事ナドガ衆議院議員ナド最モ不適當ト思ヒマス、故ニ現内閣ハソレ等ノ者ガ衆議院議員ノ候補者ニ立ツト云フナラバ、職ヲ辭シテデモヤレト云フコトニデモ爲サツテ、純粹ノ行政官ハ衆議院議員ヲ兼ネルト云フコトハ出來ナイト云フコトニサレルコトデアルカ、ドウカ、ソレヲ伺ヒタイ、此ニツノ點ガ十分出來ナケレバ、事務官ヲ置ク政務官ヲ置クト云フ區別ヲ致シマス趣意ガ徹底シナイト思ヒマス、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

〔政府委員塚本清治君演壇ニ登ル〕

○政府委員(塚本清治君) 唯今ノ御尋ニ對シマシテ御答申上ゲマスガ、政務次官ノ設置ニ際シマシテハ、從來ノ自由任用ノ範圍ニ這入ツテ居リマスル警視總監、警保局長、其他ノ官ニ付キマシテハ、中ニハ其自由任用ヲ止メマシテ、普通任用ニ返サナケレバナラナイモノガアラウト思ツテ居リマスルノデ、政務次官等ノ官制制定ニ際シマシテ、徹底イタシマスルヤウニ今折角調査中デアアルデアリマス、第二段ノ御尋ニ係リマスル行政事務官ニシテ、議員選舉ニ當リマシテ候補ニ立チ、殊ニ又他人ノ選舉運動ノ應援ニ參リマスト云フコトハ、將來之ヲ止メタイト存ジテ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言モ無イト認メマスカラ、豫算案ノ採決ヲ致サウト存ジマス、諸君ニ於テ御異議ガナケレバ日程第四ヨリ第十二マデノ豫算案全部ヲ一括シテ問題ト致シマス、豫算案全部ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、是ニテ休憩ヲ致シマシテ、午後一時三十分ヨリ開會イタシマス

午後零時一分休憩

午後一時四十二分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
 贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案可決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、日程第十三、大正十三年勅令第四十六號承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告、八條子爵

大正十三年勅令第四十六號

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十六日

右特別委員長

子爵 八條 隆正

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵八條隆正君演壇ニ登ル〕

○子爵八條隆正君 大正十三年勅令第四十六號、是ハ先刻委員會ノ經過ヲ御報告イタシマシタ震災善後公債法中改正法律案ト同一委員ニ付託ニナリマシタモノデアリマス、特別委員會ニ於テハ兩案同時ニ審議ヲ致シタノデアリマス、而シテ其結果ハ此勅令ハ承諾ヲ與フベキモノナリト議決イタシマシタモノデゴザイマス、今簡單ニ此勅令ノ内容ヲ御説明申上ゲマス、震災善後ニ關シテ必要ナル經費ニ付キマシテハ、先ニ帝都復興事業費トシテ四億六千八百萬圓ハ公債財源ニ依ルコトトシテ震災善後公債法ノ制定ヲ見タノデアリマスガ、尙ホ此外ニ震災善後ノ爲ニ要スベキ各種ノ復興復舊費ガ少カラヌノデアリマスノデ、政府ガ先刻本院ニ於テ可決セラレマシタル震災善後公債法ノ改正ヲ本議會ニ提出シ、同法ノ規定セル公債ノ目的範圍ヲ擴張イタシ、又發行限度ヲ増加セムトセラレタノモ亦是ガ爲ニ外ナラナイノデアリマス、然ルニ既ニ大正十二年度中ニ於キマシテ支出ヲ要シタモノガアツタノデアリマス、即チ東京府外五縣並ニ是等府縣内ノ市町村ノ應急施設ニ於テ歳入缺陷補填ノ爲ニ貸付金又東京府外五縣及東京横濱兩市ガ大藏省預金部ヨリ貸付ヲ受ケタル借入金ノ利子補給、又東京横濱兩市ニ於テ執行スル街路改良修築及土地區劃整理ノ爲ノ貸付並ニ之ニ對スル補助、又市立學校ノ復舊ノ爲ニ要スル所ノ貸付金、是等合計イタシマシテ二千四百十八萬五千五百一十圓ヲ要シタノデアリマス、是等ノ經費ハ大正十二年度中ニ支出スルコトヲ要シ、而カモ其財源ハ之ヲ

公債ニ求ムルノ外ナイノデアリマシタノデ、右金額ノ端數ヲ切上ゲタル二千四百二十萬圓ヲ公債財源ニ依ルコトトシタノデアリマスガ、時恰モ衆議院解散後デアリマシタノデ、帝國議會ノ協贊ヲ經ルノ途ガアリマセヌノデ、憲法第七十條第一項ノ規定ニ基キマシテ、緊急財政處分トシテ本勅令ヲ發布セラレタノデアリマス、而シテ今回憲法第七十條第二項ノ規定ニ依リマシテ、承諾ヲ求ムルガ爲ニ今回議會ニ提出セラレタノデアリマス、右ノ如ク本件ハ事明白デアリマスノデ、特別委員會ニ於キマシテハ別ニ質問モ無ク、全會一致ヲ以テ承諾ヲ與フベキモノナリト議決セラレタノデアリマス、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ニ承諾ヲ與フルコトニ對シテ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト呼フ者アリ

御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十四、大正十一年度第一豫備金支出ノ件、第十五、大正十一年度特別會計第一豫備金支出ノ件、第十六、大正十二年度第二豫備金支出ノ件、第十七、自大正十二年四月至同年十一月豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件、第十八、大正十二年度特別會計第二豫備金支出ノ件、第十九、自大正十二年四月至同年十一月特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、第二十、臨時物資供給特別會計豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告、山脇君

大正十一年度第一豫備金支出ノ件

大正十一年度特別會計第一豫備金支出ノ件

自大正十二年四月豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

自大正十二年四月特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

自大正十二年四月特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

自大正十二年四月特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

臨時物資供給特別會計豫算外支出ノ件

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十五日

右特別委員長

山脇 玄

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔山脇玄君演壇ニ登ル〕

○山脇玄君 唯今、日程ニ上ボリマシタ事後承諾ヲ求ムルノ案件七件ニ付テ委員會審査ノ報告ヲ致シマス、委員會ハ一昨十五日開會イタシマシテ正副委員長ノ選舉ヲ終リマシテ、直チニ審査ニ取掛リマシタ、此七案ヲ大別シテ見マスト云フト、第一ガ大正十一年度ノ第一豫備金支出ノ事後承諾案、第二ガ大正十二年度ノ第二豫備金支出デアッテ、大正十二年十一月マデニ支出シタ分ノ事後承諾案、第三ガ大正十二年十一月マデノ豫備金外臨時支出即チ國庫剩餘金支出其他歳入金支辨ニ關スル支出デアリマス、大正十一年度一般會計第一豫備金、豫算額ハ六百五十萬圓デアリマシテ内支出額六百三十六萬九千三百二十九圓餘デアリマス、大正十二年度一般會計第二豫備金、豫算ハ八百萬圓デアリマシテ、全部支拂ッタ後ニ國庫カラ剩餘金支出ヲ致シマシタモノガ一億三千四百五十餘萬圓デアリマス、大正十二年度ノ豫備金外支出ノ中最モ主ナルモノハ言フマデモアリマセヌ、昨年九月ノ大震災災ニ伴フモノデアリマス、特別會計ニ於キマシテハ臨時物資供給特別會計ニ於ケル支出四千八百萬圓ガ最モ主ナルモノデアリマス、是亦震災ニ伴フモノデアリマス、委員ト政府委員ノ間ニ二三質問應答ガアリマシタガ、是ハ細カイ數字ニ涉ルコトデアリマシタカ諸君速記録ニ就テ御覽ヲ願ヒタイノデアリマス、段々政府委員ノ説明ヲ聽キ、詳細ニ審査ライイタシマシタ所ガ孰レモ已ムヲ得ザル必要ナ支出デアルト認メマシテ全會一致デ可決シタノデアリマスカラ、此段御報告ヲイタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今委員長ノ報告セラレマシタ七案一括シテ議題トナスコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス、各案トモ承諾ヲ與フルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十一、大正九年法律第五十六號中改正法

律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、酒井伯爵

大正九年法律第五十六號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十五日

右特別委員長

伯爵 酒井 忠 正

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵酒井忠正君演壇ニ登ル〕

○伯爵酒井忠正君 唯今、上程イタサレマシタル法律案委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ十四、十五、兩日ニ互リマシテ開催イタシマシテ、政府ノ説明ヲ衆メ質問應答ヲ重ネマシタ結果、討議ニ入り採決ニ移ッテ異議ナク可決イタシタノデアリマス、此本案ハ北海道ノ地方鐵道竝ニ軌道ニ對シマシテ、拓殖費ヨリスル所ノ補助ノ年限ヲ現行法ニ依リマシテ五年ト定メテアリマスノヲ十年ニ改正スルノデアリマス、其理由ト致シマシテハ、現在ノ北海道ノ地方鐵道竝ニ軌道ノ營業狀態ヲ見マスルノニ、孰レモ相當ノ利益ヲ擧ゲルト云フコトハ非常ニ困難デアリマシテ、多クハ毎年缺損ヲ重ネテ居ル情況デアアルノデゴザイマス、此様ナ情況ニアル際ニ當リマシテ補助ヲ五年デ打切ルト云フコトハ、勢ヒ多クハ營業ヲ繼續スルコトガ能ハナイ状態ニ陥ルノデアリマス、ソレガ故ニ改正イタシマシテ地方鐵道補助法ト同様ニ十年ノ補助期間ヲ定メルト云フコトニ致スノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ質問應答ノ結果、全會一致ヲ以テ可決イタスコトニ議決イタシタ次第デアリマス、御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十二、國籍法中改正法律案、第二十三、戸籍法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、大島男爵

國籍法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十四日

右特別委員長

男爵 大島 富士太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

戸籍法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十四日

右特別委員長

男爵 大鳥 富士太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵大鳥富士太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵大鳥富士太郎君 國籍法中改正法律案及戶籍法中改正法律案委員會ハ十四日ニ開カレマシテ、正副委員長ノ互選ヲ終リマシテ、直チニ委員會ヲ開キマシタ、本案ハ御承知ノ如ク外國ニ於テ出生シタル我が國人ガ我が國籍ヲ離脱スル場合ニ關スル規定ノ改正デゴザイマシテ、現行法ト異ナル點ハ、現行法ハ一般外國ニ於テ生レタル者ヲ規定シアレドモ、改正法ハ北米、加奈陀、南米ト其他ノ外國トヲ區別イタシマシテ、而シテ現行法ハ外國ニ於テ生レタル我が國人ガ我が國籍ヲ離脱スルニハ、内務大臣ノ許可ヲ必要ト致シテ居リマスルガ、改正法ニテハ北米、加奈陀、南米以外ノ外國ニ生レタ者ニハ尙ホ内務大臣ノ許可ヲ要スレドモ、北米、加奈陀及南米ニ生レタ者ハ許可ヲ要セズシテ、唯届出デルト離脱ヲ爲スコトヲ得ルヤウニナリマシタ、又法律施行後ニ生レタ日本人ハ日本ノ國籍ヲ留保スルノ意ヲ表示シナケレバ出生ノ時ニ遡リテ國籍ヲ失フコトニナリマシタ、從來ハ一々内務大臣ノ許可ヲ得ナケレバ日本ノ國籍ヲ離脱スルコトガ出來マセヌデ、在外居留民ノ不便ヲ感ジタモノデシタカラ、此改正ニ依リマシテハ、二重國籍者ノ數ヲ大ニ減ズルコトトナリマセウシ、又此爲ニ在外居留民ノ當然外國ノ籍ヲ取ツタモノト心得テ居リマシタ者デ、内務大臣ノ許可ヲ得ルコトナクシテ外國ノ籍ニ這入ツタモノダト誤ツテ居ルヤウナ者ガ無クナルノダラウト思ヒマス、斯ノ如クシテ二重國籍者ノ數ガ段々減ズルヤウニナルコトヲ規定サレタモノデアリマス、而シテ此規定ト同様ナルモノガ外國ニモアリマシテ、我が日本バカリガ斯ウ云フ規定ヲ致シテ居ル譯デモゴザイマセヌ、尙ホ此日本ノ規定ヨリ進ンダ規定ヲシテ居ル國モアリマス、ソレカラ今度ノ改正ニ依リマシテ、十七歳以上ノ者ハ、現行法ニ依リマスルト離脱ハ出來マセヌガ、改正法ニテハ出來ルヤウニナリマシタ、モウ一ツ國籍ヲ喪失シタル者ガ之ヲ回復シタ場合、家督相續權ノ順位ガ後レルト云フヤウナコトニナリマスガ、是ハ現行法デモ同様デ致方ゴザイマセヌ、要スルニ今回ノ改正ハ我が國人ノ海外發展ニ資スルモノガ大ニシテ、在外居留民ノ利便ヲ増進スル法案ナルニ鑑ミマシテ委員會ハ政府委員ノ説明ヲ聽取シ質問應答ヲ重ネマシテ全會一致ヲ以テ可決スルコトニナリマシタ、尙ホ

戶籍法中改正法律案ハ國籍法中改正案ニ伴フ必然ノ改正デアリマスル故ニ、

何モ質疑モゴザイマセヌデ可決スルコトニナリマシタ、右御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガ無ケレバ、唯今、特別委員長ノ報告セラレマシタ兩案トモ一括シテ議題ト致シマス、兩案トモ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十四、朝鮮銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、仁尾君

朝鮮銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十四日

右特別委員長

仁尾 惟茂

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔仁尾惟茂君演壇ニ登ル〕

○仁尾惟茂君 唯今議題ニナツテ居リマス朝鮮銀行法中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、特別委員會ハ去ル十四日ヲ以テ開キマシテ、政府ノ説明竝ニ質疑ヲ終了イタシマシテ、續イテ討議ニ移リマシテゴザイマス、本改正案ハ監督制度ノ改革ニアリマシテ、是マデ朝鮮銀行ハ朝鮮總督ノ監督ニ屬シテ居リマシタノヲ大藏大臣ノ權限ニ移スト云フ改正デアリマス、其理由ハ朝鮮銀行ハ設置以來、著シキ發展ヲナシマシタ、其發展ハ朝鮮内地ノミナラズ、寧ロ朝鮮地域外ニ於テ最モ著シキ發展ヲ來タシタモノデアアル、試ニ其實ヲ舉ゲマスレバ、例ヘバ支店、出張所ノ如キモ、朝鮮内ニ於キマシテハ十箇所ニ過ギナイノデアリマスルガ、朝鮮地域外、即チ關東州、滿蒙、西比利亞等ノ此地域外ニアリマスル所ノ數ハ二十有餘ノ多キニナツテ居リマス、又業務ノ狀態、即チ預金、借入金、又ハ貸金等ノ取扱高ニ依リマスルノニ、朝鮮内地ハ二億圓餘ニ過ギナイモノガ、朝鮮地域外ニ於キマシテハ十二億三千萬圓、即チ五倍ノ多キニ居リマスルノデ、此有様ハ、朝鮮銀行ハ最早朝鮮一地方ノ銀行ニアラズシテ、一般的ノ扱ヲ爲サネバナラスト云フ狀態ニ進ミマシタ、又同銀行ハ兌換券ノ發行ヲ取扱ヒマス、一般金融樞要ノ地位ニ居リマス、是亦考ヘナケレバナナリマセヌ、又帝國ガ支那滿洲朝鮮等ニ於ケル政策ノ上ニ於キマシテモ、同銀行ノ如キハ寄與スル所少カラヌコトモアリマス、又モウ一ツ樞要ノ點ハ朝鮮銀行ノ業務ノ狀態等ニ於キマシテ、速ニ改正整理ヲ要スルノ狀態ニアリマス、旁、以チマシテ此銀行ニ對スル所ノ一般監督權ハ大藏大臣ニ移シマスルヲ最モ相當ト致シマス、且ツ必要ト致シマス、此點ハ十分デアリマス、ソレデ此改正案ハ適當ナル法案デアルト云フコトヲ認メマシタ故ニ、全會一致ヲ以チマシテ可決イタシマシタ、此段御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ト致シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十五、二十六ハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、委員長ノ報告ハ一括シテ煩ハス積リデゴザイマスガ、議題ト致シマスノハ第二十五ノ日程ノミト御承知ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二十五、震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案、第二十六、復興貯蓄債券法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

ノ續、委員長報告、前田子爵

震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十四日

右特別委員長

子爵 前田 利定

貴族院議長公爵徳川家達殿

復興貯蓄債券法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十四日

右特別委員長

子爵 前田 利定

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕

○子爵前田利定君 震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案、此特別委員會ニ於ケル審査ノ御報告ヲ致シマス、本案提出ノ趣旨ト致シマシタ所ハ昨秋ノ九月ニ未曾有ノ大震災火災ニ依リマシテ夥シキ額ノ無記名國債證券ガ毀損或ハ喪失ヲ致シタノデアリマス、銀行ノ國債ニ關シマスル法規ニ依リマシテハ、記名ノ分ニ對シマシテハ法規所定ノ手續ヲ經マスレバ代證券ヲ交付セラルルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、併シ無記名ノ國債證券ニ付キマシテハ、ソレ等ノ途ガ開イテナイノデアリマス、何分過般ノ災害ニ依リマシテ喪失イタシタル無記名國債證券ガ巨額ニ上ホリマスルガ故ニ、一面ニ於キマシテハソレ等ノ救済、他面ニ於キマシテハ復興ヲ助成スルノ目的ヲ以テマシテ、現行ノ國債法規ノ所謂例外法規ト致シマシテ、此法規ノ認ムル所ノ手續ヲ履キマスレバ、即チ本案ニ規定サレテ居リマス所ノ査定ヲ受ケマシタモノニ對シマシテハ、新證券ヲ交付スルト云フノガ本案提出ノ趣旨デアリマス、之ニ付キマシテ委員ノ中ヨリ種々質疑ガアリマシタガ、殊ニ本案ノ特別委員中ニハ知名ノ法曹モ居ラレマシタノデ、法律關係等ニ付キマシテハ緻密ナ質疑ガアッタノデアリマス、サリナガラ討議ニ入りマシテハ別段ノ事モゴザイマセズ、全會一致ヲ以テ可決承認ヲ致シマシタ、其賛成ノ論モ一ニゴザイマシタガ、ソレヲ綜合シテ御紹介申上ゲマスレバ、本案ハ法律自體トシテ缺點ガアルト思フ、此法律ガ他ノ法律ノ先例トシテ繰返サルルノ虞ガアツテ不安ヲ感ズルケレドモ、併ナガラ提出ノ理由ガ理由デアアルカラ賛成ヲ致スノデアアル、

併シ何分ニモ新シキ權利ヲ設定スルコトデアアルカラシテ審査會又ハ審査事項、此査定ニ付テ十分ナル用意ヲ以テ臨ンデ貰ヒタイ、斯ウ云フ御論ガアリ、又他ニハ是ハ無記名ノ國債證券ニ關スル規定デアアルケレドモ、之ニ類似セル所ノ有價證券、殊ニ供託シテ居ルヤウナ有價證券ニ付テハ何等カ考慮ヲシテ貰ヒタイト云フヤウナ希望ノ意味ヲ以テ御賛成ニナツタ委員モ居ラレタノデアリマスガ、要シマスルニ全會一致ヲ以テ本案ハ可決セラレタノデアリマス、外一件タル即チ復興貯蓄債券法案ニ付キマシテモ、是亦同様ニ全會一致ヲ以テ可決ニ相成リマシタ、此本案ノ提出目的ハ大正十三年度ヨリ大正十七年度ニ互リマシテ、過般ノ大震災火災ノ復舊復興ニ付キマシテ、約十二億ノ金ガ世ノ中ニ散布セララルコトニナルノデアリマス、而シテ其大部分ハ勞働ニ從事スル所ノ人種ノ間ニ多ク吸收サレル次第デアリマスルガ故ニ、其結果或ハ浪費ニ流レ奢侈ニ赴クヤウニナツテハナラヌト云フ所カラ國民ニ貯蓄心ヲ獎勵スルト云フコトト、他面ニ於テハ零碎ナル所ノ資金ヲ吸收シ、集積イタシテ之ヲ折半シ、其一半ハ復興ヲ助成スル所ノ資金ニ融通ヲシヤウト云フノデアリマス、他面ハ地方的、地方振興ノ上ノ資金トシテ貸出サウト云フノデアリマシテ、此本案ノ目的ハ右申上ゲタヤウナ現下ニ於ケル所ノ經濟ノ情勢ニ鑑ミテ提出相成ッタ次第デアリマス、之ニ付キマシテモ相當質疑ガゴザイマシタガ、討議ニ入りマシテ前申上ゲタ通り、全會一致ヲ賛成ニ相成ッタノデアリマスガ、其賛成論トシテ茲ニ摘ンデ御紹介申シマスレバ、本案提出ノ主義ハ誠ニ結構デアアルカラ賛成ヲ致スノデアアルガ、併シ此割増債券ト云フコトニ付テハ、政府ニ於テ十分考慮シテ貰ヒタイト思フ、現在勸業債券ノ割増ノ附イテ居ル最高ノモノハ五百倍ニナツテ居ル、是スラモ甚シキ巨額デアルト思フノデアアルガ、ドウカ其額ガ高クナレバナルホド所謂射倖心ヲ助成スル虞ガアルカラ、此點ニ付テハ十分留意シテ貰ヒタイト云フ意味ヲ以テ御賛成ニナツタ委員ガアラレタノデアリマス、又或委員ハ、此資金ハ地方的ノ振興ノ資金或ハ又復興ノ助成資金ト云フコトデアアルガ、需要者ニハ爲シ得ルダケ低利ヲ以テ融通セラレルヤウ考慮ヲシテ貰ヒタイ、斯カル希望ヲ持タレマシテ賛成サレタ委員ガアッタノデアリマスガ、要シマスルニ全會一致ヲ以テ本案モ可決承認ニナリマシタ次第デアリマス、右報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程、第二十六ニ付テハ通告ガゴザイマスカ

ラ質疑ヲ許シマス、土方君

○土方寧君 第二條……第二條デアリマセヌ、第三條、復興貯蓄債券ノ割引金額及利子歩合ハ主務大臣ガ之ヲ定メルトアツテ、茲デハ決メテアリマセヌ、

五年間ニ跨リテ債券ヲ發行スルヤウデアリマスガ、其時ノ事情デ金高ヲ御決メニナル御考デアリマスカラ、是ハ無理モゴザイマセヌガ、割引或ハ利率ニ

依リマシテ、先ヅ本年中ニ發行スレバ其利率ハ幾ラ位ニナル御積リデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイノガ一ツデアリマス、ソレカラモウ一ツ次ニ四條デア

リマス、毎年二回抽籤ヲ以テ之ヲ償還スルト云フノデアリマスガ、之ニハ割増金ガ附イテ居リマス、其割増金額モ是ニハ別ニ決マツテ居リマセヌガ、

ナツキ委員長ノ御報告デハ從來ノ勸業銀行ノ五百倍ト云フノ最高トシテ居

ルト云フ御話デアリマスガ、サウスルトドンナ見當デアリマスカ、ソレヲ伺

ヒタイ、此二點デアリマスガ、ソレニ併セマシテ、是ハ本員ガ自分デ調べテ

分ル譯デアリマスガ、マア政府當局ニ伺ッタ方ガ確デアルカラ併セテ伺ヒタ

イノハ、現在郵便貯金ノ利率ハ幾ラ位ニナツテ居リマスカ、ソレカラ銀行ノ定

期預金ノ利子ナドハ銀行ニ依ッテ違ヒマセウガ、平均シタ所、大凡幾ラ位ニ

ナツテ居リマスカ、此二點モ併セテ伺ヒタイト思ヒマス

〔政府委員小野義一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小野義一君) 御答ヘ致シマス、利率及割増金額ノコトハ御想像

ノ通り現在勸業銀行ノ行ッテ居ル限度ニ止メル積リデアリマス、次ニ郵便貯

金ノ利率ハ表向キ四分八厘ニナツテ居リマスガ、貯蓄ヲ致シマスル即チ預ケマ

シタル月ト拂戻シヲ致シマスル月ハ利子ヲ附セナイコトニナツテ居リマスカ

ラ、彼レ此レ三分九厘乃至四分見當デアリマス、ソレカラ定期預金ハ東京大

阪方面ニ於テハ六分若クハ六分五厘位デアリマス

○土方寧君 チョット一ツ伺ヒマスガ、從來、勸業銀行ノ割増金附ノ利率ハ四

分位デアリマスカ、ソレヲチョット伺ヒマス

〔政府委員小野義一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小野義一君) 御話ノ通リデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ討議ニ移リマス

〔藤本閑作君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 藤本君ハドウ云フコトデスカ

○藤本閑作君 チョット質問イタシタイコトガアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 質問デスカ

○藤本閑作君 ハイ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○藤本閑作君 先年モ私ハ御伺ヲ致シテ居リマスガ、此割増附ノ債券ヲ御發

行ニナルト云フコトハ、時ト場合ニ依リ事情已ムヲ得ヌト思ヒマスガ、是ヨ

リ外ニ方法ガナイト云フ御考デ御發案ニナツタコトデアリマスカラ、其邊ハ承

知シテ居リマスガ、今モ土方君カラ御尋ニナリマシタ如ク、此郵便貯金ノ利

子ヲ政府ハ今ニ御引上ゲニナラヌト云フノハ、ドウモ國民トシテ了解ニ苦シム所デアルト信ジテ居リマス、御承知ノ通りニ、近來、日本ノ金利ハ漸次毎年毎年高クナツテ來テ居リマス、ソコヘ持ツテ來テ國民ガ汗ト脂ヲ絞ツテ出シ、政府ノ勸誘獎勵イタサレル所ノ勤儉力行ノ趣旨ヲ奉體シテ、粒々辛苦カラ生レ出テ居ル所ノ其一片ヲ以テ郵便貯金ニ致スノデアツテ、而カモ是ハ國民全體、大多數ノ細民デアアル、其細民ガ預金ヲ致ス所ノ郵便貯金ノ利子ヲ今以テ從前通りニ御据置キニナリ、之ヲ御引上ゲニナラヌト云フノハ、如何ニモ私ノ了解ニ苦シム所デアリマス、此機ニ於テ……前年御質問イタシマシタ、或時機ニ於テ相當御引上ゲニナルコト今日マデ固ク信ジテ居ッタデアリマス、然ルニ又ゾロスウ云フヤウナ二億萬圓ト云フ所ノ割増附ノ債券ヲ御發行ニナル、此方ハ先ヅ宜シイト致シテ、一面ニ於テ全國ノ細民ヲ顧ミザル所ノ御處置ハ甚ダ私ハ了解ニ苦シム、此機ニ於テ大藏大臣ノ御明答ヲ願ヒタイモデアリマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 唯今ノ御質問ニ御答ヘ致シマスルガ、郵便貯金ノ利子ノ高低、即チ之ヲ上ゲタリ下ゲタリスルト云フコトハ、單純ニ之ヲ定ムル譯ニハ參ラヌト思フデアリマス、即チ我國ニ於ケル國民ノ貯蓄ノ機關ハ單ニ郵便貯金ノミデアリマセヌ、御承知ノ通り貯蓄銀行ト云フモノガアリマスノデ、貯蓄銀行ノ關係ト能ク見合ヲ致シマシテ郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲルバ、ソレダケ貯蓄銀行ノ貯蓄預金ガ減ルト云フ事情ヲモ斟酌イタシマシテ、然ル後ニ初メテ決定スベキモノデアルト思フデアリマス、ソレ故ニ今日ノ狀態ニ於キマシテハ、郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲル必要ハ無イデアラウト考ヘマス、加之、政府ハ此度ノ復興貯蓄債券法案ノ通過イタシマシテ、是ガ法律トナツテ、實施サレマシタ曉ニ於テハ、他ノ諸般ノ計畫ト相俟ツテ、十分ニ全國民ニ對シテ貯蓄獎勵ノ宣傳ヲ致ス積リデアリマスルガ故ニ、此際、郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲマセズモ、貯蓄ノ獎勵ノ上ニ於テ相當ノ效果ヲ奏スルト云フコトヲ期待ヲ致シテ居ルデアリマス、從テ今日ノ狀況ニ於キマシテハ、差向キ郵便貯金ノ利子ヲ引上ゲル考ヲ有ツテ居ナイノデアリマス

○藤本閑作君 唯今ノ御答辯ハ私ハ遺憾ナガラ敬服スルコトガ出來スノデアリマス、意外ナル答辯ヲ頂戴イタシマシタ、前ニ御尋ネシタ時分ニモ、殆ド同様ナ御筆法デ、内閣ハ異ナリマスルガ、大藏大臣ハ今ノヤウナ御答辯ヲナサ

レタノハ、私ノ洵ニ遺憾ト致ス所デアリマス、重ネテ御尋ネ致シマシテモ、ソレハ意見ノ相違ト云フヤウナコトニナリマスカラ、此上質問ハ申シマセヌ、唯私ノ希望ヲ此席デ申上ゲタイノハ、貯蓄銀行トノ比例ガアルト、大臣ハ仰シヤイマスケレドモ、其貯蓄銀行ガ……

○議長(公爵徳川家達君) 藤本君御希望ヲ御述ベニナルコトハ御控ヘテ願ヒタイト考ヘマス

○藤本閑作君 承知イタシマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 御述ベニナリタケレバ、通告順ガ濟ミマシテカラ御述ベテ願ヒタウ存ジマス

○藤本閑作君 サウデゴザイマスカ、ソレデハサウ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告ニ依リマシテ、土方君ニ發言ヲ許シマス、土方君

〔土方寧君演壇ニ登ル〕

○土方寧君 諸君、本員ハ昨年ノ春、第四十六ノ議會ニ於キマシテ、時ノ政府提出ノ俗ニ所謂馬券附競馬法案ニ反對イタシマシタノト同様ノ理由ニ依リマシテ、此復興貯蓄債券法案ニモ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、會期モ切迫シテ居リマスルシ、炎暑ノ砌デモアリマスルカラ、成ルベク簡單ニ卑見ヲ述ベタイト思ヒマスルガ、暫ク御清聴ヲ煩シタイ、本案ニ付テ申シマスルト、初メ政府ノ説明ニ依リマスルト、何レ近イ内ニハ昨年ノ震災災ニ依リマシテ失ヒマシタ東京、横濱、其他ノ罹災地ニ於ケル復興事業ガ始マルト、多大ノ費用ヲ要スルノデアアル、デ此金ガ大部分ハ多數ノ各種ノ大工左官等ノ労働者ノ階級ニモ配布セラレル譯デ、彼等ノ懷ロガ温クナル、サウシテ見ルト、今マデノ彼等ノ生活ノ性狀カラ推察イタシマスルト、何レハ浪費スル、ソレハ彼等ノ爲ニモ社會ノ爲ニモ宜クナイノミナラズ、或ハ日用品ノ騰貴ヲ促スヤウナ弊害モ起ツテ來ヤウト云フノデ、一方ニハ復興復舊ノ爲ニ多大ノ資金ヲ要スルノデアリマス、是等ハ人々ニ取ツテハ少額デアリマスケレドモ、大勢ノコトデアリマスカラ、ソレカラ零碎ナ金ヲ吸收シテ、而シテ之ヲ以テ復舊復興ノ費用ニ充テル、同時ニ昨年ノ災害ハ唯罹災地ノミニ限ラナイ、全國ノ産業ニ影響ヲ及ボシテ居リマスノデ、之ニ付テモ幾分復舊事業ノ費用ニ供スルト云フ風ニ聞イテ居リマス、此説明ハ一面カラ見マスルト、頗ル尤ニ聞エマス、浪費ヲ戒メテ貯蓄セシムル、洵ニ尤ニ聞エマス、其點ハサウ言ツテ見レ

ハ私モ頗ル賛成デアリマスガ、ソシテ此本案ガ其趣意ニ副フヤウニ出來テ居ルカト云フト、決シテサウデナイト思ヒマス、其表題ニハ復興貯蓄債券法トアリマスガ、貯蓄ノ名アツテモ實ガナイト思ヒマス、成程マア五圓カ十圓ノ債券ヲ澤山發行シマシテ、格別餘裕ノ無イ其日稼ギノ者ガ五圓ナリ十圓ノ債券ヲ何枚カ買フ、買ハナカッタナラバ飲食ヒデモシテ仕舞ウガ、之ヲ買ヘバ浪費ヲ防グ形ニナツテ、一日買ヒマスト償還セラレルマデ拂戻ハサレナイ、強制的ニ貯蓄シタ形ニナツテ、其金ノ浪費ヲ防イデ居リマスカラ其點ハ宜イヤウデスガ、併ナガラサウ云フ階級ノ人ニ限ツテ、何モ貯蓄スルト云フ趣意デスルンデヤナイノデス、年二回籤ガアル、ソレニ當レバ五百倍ノ金ガ取レル、十圓ノ金ヲ以テ籤ニ當レバ五千圓取レル、ソレヲ夢想シテ買フノデスカラ、決シテ貯蓄ノ趣旨デナイ、貯蓄ノ趣意ナラ利率ハ……矢張り同ジヤウナ例ヲ今一ツ云フト、郵便貯金ハ便利デアリマス、郵便貯金ヲスル人ハ、資力ノナイ人が多イノデスガ、必要ノ時ハ引出セル、引出セバ何時デモ利用出來マス、銀行ノ定期貯金ナラバ、何時デモ出來マセスガ、併シ半年位ニヤ期限ガ來ルト云フコトナラバ、サウ不便モ感ジナイシ、利率モズツト好イ譯デアリマス、斯ウ云フヤウナ本當ノ貯蓄ノ法ガ別ニアルノニ、ソレニ依ラヌデ、サウシテ之ニ依ラシメヤウト云フノハ詰リ投機心、射倖心ト云フモノヲ唆ツテ、サウシテ彼等ノ零碎ノ金ヲ搾リ取ラウト云フノデアリマス、ソレハ私ノ考デハ決シテ賢明穩當ナ處置デハナイ、丁度私ガ馬券附競馬法ニ反對シタト同ジ趣意デ之ニモ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、若シ之ヲ發行シテ、五圓ナリ十圓券ト云フモノヲ幾枚カ持ツテ居ル者ガ、彼等ニ限ツテ大抵ハ其日ニ金ハ使ツテ仕舞フ、必要ニ應ジテハ金融ヲ求メナケレバナラヌ、質ヲ入レル、其他ノ方法デモ十分ノ金ガ無イト云フ場合ニハドウデアリマス、郵便貯金ナラ拂戻ヲシテ貰フ途ガアルガ、之ヲ擔保ニ供シテ金ヲ借リルトスレバ十圓券デモ六圓カ七圓シカ貸シテ呉レマイ、貸サナケレバ賣ル、賣ル時ハ彼等ヨリモウ少シ餘裕ノアル者、高利貸ノヤウナ者ガ一方ニハ籤ニ當ルト云フコトノ希望ヲ有ツテ、他ノ方ニハ當ラヌニシテモ四分ノモノヨ半額デ買フカラ八分ニ當ルト云フノデ、殆ド買盡シテ仕舞フト云フヤウナコトデ、ソレ等ノ手ニ集中セラレル譯デアアル、決シテ多數ノ浪費セラレル懸念ノアル人ニ向ツテ、貯蓄ト云フコトノ精神ニ依ツテ之ニ應募サセルト云フコトハ出來ナイ形ニナツテ來ルト私ハ思ヒマス、之ヲ馬券ト云フ競馬ニ比較シマス、性質ニ於テハアノ方ガモット

悪イ、勝馬投票券トカ云フ馬券ト云フモノヲ買フ、ソレガ當ルカ當ラナイカ直グニ備ノ間ニ分リマス、日ニ何回モヤル、何回モ直グニ分ル、當レバ十倍クヲキニナルケレドモ、當ラナケレバ代金ガ皆無クナル、程是ハ博奕ニ近イ、此方ハ兎ニ角四分ニシマシテモ利息ガ附イテ何時カハ償還セラレルカラ元金ヲ失フコトガ無イ、利息モ附イテ來ル、是ハ賭博トハ性質ガ大分違ツテ居ルヤウニ見エマスケレドモ、馬券ノ方ハ十倍クヲキト云フノデアリマス、是ハ五百倍ト云フ、十圓ノ籤ガ當レバ五千圓貰フト云フ、ソレガ極ク當ル者ハ少數デゴザイマス、ソコガ即チ僥倖ヲ期スル所デ、投機心ヲ挑發スル所以デアアル、ソレガ有害デアルト本員ハ固ク信ジマス、五千圓當ツタ者ハ或ハ之ヲ以テ確實ナル商業ノ資本トスル者モ中ニハアリマセウ、是ハ洵ニ結構デアリマスガ、私ハサウ云フ風ニ唯天カラ降ツテ來タヤウナ金ガ入ツタ場合ニハ、今度ハ彼等ハ大ニ浪費スルダラウ、外ハ惡イ例ヲ示スコトニナリハスマイカト思ヒマス、昨今、近年ノコトデアリマスガ、我國ノ民心ハ非常ニ廢頹シ惡化シテ居ル、奢侈安逸ニ流レ、其日暮シノ享樂主義ニ陥ツタヤウナ情勢デ、是デハナラヌ、何トカシナケレバナルマイト云フコトハ、朝野ヲ問ハズ識者ハ皆憂慮シテ居ル所デアリマス、何トカ民心ヲ改善シナクチャナラヌ、前内閣モ前々内閣モ政綱ノ中ニ民心ノ改善ダトカ精神作興ト云フコトヲ掲ゲテアリマス、趣意ハ善クゴザイマスガ、是ハ實ニ空言見タイモノデ、ソシテラドウ改善ナサイマスカト言ツタラ、別ニ方法ハ無イト言フ、旨ノ手ヲ引イテ歩イテヤル、東京ヘ出テ來タ田舎者ニ道ヲ教ヘテヤルト云フヤウナ工合ニ民心ノ改善ト云フモノヲ具體的ノ確然タル手段ヲ以テ行フコトハ出來ナイ、アンナコトヲ言ハレルノハ實ニ無駄ナ話デアアル、現内閣ニ於キマシテモ民心ノ改善ノ必要ハ御認メニナルニ相違ナイ、綱紀振肅ト云フコトヲ政綱ノ中ニ加ヘテ居ル、官紀振肅ハ政府デ出來マセウ、職務時間ヲ厲行スル、服務規律ヲ嚴守スルト云フヤウナ方法デ官紀振肅ハ出來マセウ、綱紀振肅モ大體ニ於テ幾分カ出來マセウガ、併シ大本ノ民心ノ改善ト云フコトガ無ケレバ是等ノ十分ナル效果ヲ舉ゲルコトハ出來ナイ、故ニ民心ノ改善ノ必要ナコトハ認メテ居ルニ相違ナイ、ケレドモ是ハ言ハレナイ、言ハレナイノハ尤ダ、言ツテ見タ所ガ、ドウシテ爲サルカ、方法ガ無イト言フ、斯ウ云フコトヲ言ハレナイノハ賢明デアアル、ケレドモ必要ナコトハ認メテ居ルニ相違ナイ、此改善ノ必要ナコトハ認メテ、誰ニ問ウテモ今具體的ニ別ニ名案ガナイ、結局ハ教育ニ俟ツ外アルマ

イ、非常ニマドロコッシイ話ダケレドモ、外ニ方法ハ無イ、此教育ハ我國デハ教育制度始ツテ以來、大體今日ノ如クニ、德育、體育、智育ト云フコトノ三教育ト云フモノヲ基礎ニシテ、其教旨ハ後ニ明治二十三年ニ出マシタ所ノ世間ノ所謂教育勅語、教育ニ關スル勅語、略シテ教育勅語ト言ッテ居リマスガ、是ガ基礎ニナツテ居ル、之ヲ教育勅語ト誰ガ言出シタカ一向私ニハ分リマセヌ、成程、其勅語ト云フモノハ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存スト云フコトガアリマス、其處ダケ見レバ教育ダケノコトニ聞エマスケレドモ、全體ヲ御覽ナサイマスト云フト、決シテサウ云フモノデハアリマセヌ、是ハ本員等ノ考ヘマス所デハ貴賤貧富老若男女官民、何等ノ區別ナク、苟クモ日本臣民デアル以上、我我ノ日常ノ起居動作ノ規矩準繩トスベキモノデアルト云フコトハ疑ナイノデアリマス、殊ニ政府ノ責任ノ位置ニ居ル人ハ一層其責任ヲ重ンゼラレルコトガ必要デアラウト思フ、勅語ノ終ノ方ニ「朕爾臣民ト俱ニ拳々服膺シテ成其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ」斯ウ仰セラレテアリマス、聖天子親ラ之ニ依ッテ日常ノ事マデ規律ヲ立ッテ行カウ、臣民ト俱ニ……斯ウ云フヤウナ有難イ仰セ、是ガ二十三年ニ出マシテ以來、其前カラ大體今ノ趣意デ日本ノ教育ガ出來テ居ルト思ヒマスガ、實ハ其後餘リ教育勅語ノ趣意ト云フモノガ十分ニ行ハレナイ、尤モソレハ餘リ多ク望ム譯ニハ行カヌカモ知レマセヌ、若シ教育勅語ノ趣旨通りノコトガ完全ニ行ハレテ成績ガ舉ツタナラバ、我國ハ宇内開闢以來外ニ類例ノ無イ全ク極樂土ニナルデアラウト思ヒマス、ソナ聖人バカリデ成立ッテ居ル所ノ社會ナリ國ガ出來ヤウガアリマセヌ、人間ニハ色々弱點ガアリマスカラ、サウ逆モ完全ニナル譯ニハ行カナイ、併ナガラ茲ニ理想ガアル、之ヲ目標トシテ少シデモ近寄ルコトニ官民共ニ皆努メナケレバナラヌ譯デアリマス、サウナラナケレバ我が團體ト云フモノハ維持スルコトハ出來ナイト思フ、一方ニハサウ云フ心掛デ之ヲ成ルベク實際ニ行フコトノ考ヲ國民ガ皆持チ、爲政者ハ一層責任ヲ感じテ、サウシテ實踐躬行、範ヲ國民ニ示ス態度ニ出ナケレバナラヌト思ヒマス、然ルニ今日此御趣意ニ反スルヤウナコトヲシテ居ル、競馬ヲ作り博奕ヲヤル、今度モ同ジヤウナコトヲヤル、教育勅語ノ勤儉、勤儉ナント云フ言葉ハドウ御解シニナルカ知レマセヌガ、コシナ偶然ナ僥倖ヲ期スルヤウナコトトハ相容レナイ、サウ云フコトヲ否認スル、宜シクナイト云フ言葉デアルト私ハ解シテ居リマス、恭儉トアリマス、此勅語ノ方……此勅語ト云フモノハ二十三年ニ出マシテ以來、先刻御話シタヤ

ウニナツテ居リマス、二十七八年ノ日清戰役ノ結果、始メテ日本ノ國ハ歐米ノ諸國ニ、支那ノ一部分デナクシテ、獨立國デアッタカト云フコトヲ認メラレタ情ケナイ次第デアリマシタガ、併ナガラ立派ニ戰爭ノ結果、遼東半島ト云フモノヲ三國ノ干渉デ還付サセラレルヤウニナツテ、是ハ一面カラ見マスト云フト、我が國民ニ刺戟ヲ與ヘルト云フ點ニ於テ大變ニ有利デアッタト思フ、臥薪嘗膽ト云ツテ再ビ斯ノ如キ國難ニ遭ヒ國辱ヲ蒙ルヤウナコトガアツテハナラヌト云フトガ、國民全體ニ痛感セラレテ、精神ガ緊張シテ他日ニ備ヘルコトガ必要デアルト感じテ居リマシタラコソ、約十年後ノ戰爭ニ三國干渉ノ一員タル大國ガ我國ノ獨立ヲ脅カシタ時分、防禦上已ムラ得ズ戈ヲ執ッテ立ッテ勝利ヲ得タ、「ポーツマス」ノ條約デ償金ガ一文モ取レナカッタ言ッテ、都會ナドデハ多少騒ギマシタケレドモ、併ナガラ遼東及滿鐵等ノ利權ヲ得マスシ、半分ナガラ權太モ取ルヤウナコトニナリマシテ、サウシテ其後ハ戰勝ノ餘影デ經濟界ガ非常ニ景氣ガ宜ウゴザイマシタ、前ニモ倍スルヤウナコトデ、馬券ト云ツテ競馬ナドガ盛ニ行ハレテ、是ガ益々盛ンニナツテ、弊害ガアルト云フノデ禁止サレ、矢張り是同様ニ國民ガ皆輕佻浮薄、奢侈ニ流レルト云フ風ガ見エタノデ、四十一年ニ成申詔書ヲ拜スルニ至リマシタ、四十一年ノ成申詔書ナドト云フモノハ、先帝御在世中デアリマシテ、其中ニ矢張り「忠實業ニ服シ勤儉産ヲ治メ」云々ト云フ御言葉ガアリマスガ、是ナドハ今申スヤウニ馬券ノ賣買トカ、今ノ復興貯蓄債券ノ募集ヲスルト云フヤウナコトトハ正反對ナコトト思ヒマス、即チ教育勅語ガモウ少シ行ハレテ居ッタナラバ成申詔書ヲ拜スルヤウナコトトハナイ譯デアリマス、ソレヲ聖慮ヲ煩ハシ奉ツタ、ソレヨリズット同ジヤウナ民心ノ情況デ進ンデ居ル中ニ、約十年經ツト今度ハ歐洲大戰亂、我國モ參戰シマシタガ、實ハ地理ノ關係其他カラシテ誠ニ都合ノ良イ境遇ニアツテ、恰モ「ナポレオン」戰爭ノ時ニ英吉利ガ一方戰ヒナガラ商賣ヲシテ儲ケタト同ジヤウナ工合ニ、歐羅巴ノ大國ハ殆ド存亡ノ場合デ外國ニ對スル産業上ノ輸出ガ出來ナイカラ、日本ハ戰ヲシナガラ彼等ノ販路ヲ奪ッテ少カラズ儲ケヲシタ、今ノ振合ヒカラ言ヘバ大キナ金ヲ儲ケタヤウナ譯デ大變都合好ク行ッタ、向フハドウカト云フト巴里ノ平和ガ成立ッテ、世ノ中ガ平和ニナツテ來タト思ッテ大騒ギヲシテ、日本デハ平和博覽會ト云フヤウナモノヲ開イテ笑ハレルヤウナコトヲシテ居ル、決シテ平和ニナツテ居ラス、西洋ノ文明ハ行詰ッテ破産シカケテ居ルト思フ、彼等ハ再ビ斯ウ云フコトガ

アツテハナラヌカヲト云ツテ、色々ノ改造問題ガ起ルノハ無理カラヌコトデア
 ル、併シ我々ハサウ迫ッテハ居ラヌ、彼等ノ形勢ト比較シテ見ルト、我々ハ彼
 等ノヤウニ改造ト云フ、アンナコトハ一向解ラナイ、我國ノ民心ハ今日ノ所
 デハ嚮フ所ハナイ、思想ガ混亂ノ状態ニアル、西洋ノ事ヲ一向取捨按排シテ
 カラ我國ニ適當スルモノヲ探ルト云フヤウナ風ニ、範ヲ探ルト云フコトハ無
 イヤウニ見エマス、西洋デヤツテ居ル事ハ何デモ宜イヤウニ思ッテ盲從スルト
 云フ氣味ガアル、益々人心ガ不安定ニナツテ、相變ラズ輕佻詭激ノ思想モ起ッテ
 來テ、此ノ詭激ノ思想ヲ起ス理由ハ西洋ニ在ッテ日本ニハ無イノデス、日本
 ニハ無イノニ、ソレヲ受賣リヨシテ或者ヲ煽動シテヤラセテ居ル、斯ウ云フ
 憂フベキ時代デアリマス、何ハサテ措イテ、モウ少シ質實強健ナル精神ヲ作
 興シ、民心ヲ涵養セシムル、改造セシムルト云ツテモ、是ト云ツテ具體的ノ方
 法ハアリマセヌカラシテ、益々惡イ方ニ進ムノヲ防グ方ニハ少クトモ努メナ
 ケレバナラヌ、然ルニ競馬法ト云ヒ、此法案ト云ヒ、射倅心ヲ唆ルヤウナ、
 火ニ油ヲ注グヤウナコトヲ爲サルト云ウヤウナコトハ、私ハ何ト云フ譯デス
 ウ云フコトヲ爲サルカ、ドウシテモ了解ガ出來マセヌ、昨年九月ノ大震災災
 デ、物質上非常ニ打撃ヲ受ケテ、或ハ外國カラ見レバ一等國デアツカ、數等、
 國力が減ジタト云フヤウニ見ラレテ居ル今日デアリマス、ソレニドウデス、
 三國ノ干渉ニ遭ラタ時ニハ臥薪嘗膽ト言ッテ居タガ、今ハドウデス、ソレデモ
 目ガ覺メナイ、最早精神ト云フモノハ腐敗シ切ッテ居ルト思フ、今ダニ矢張り
 アンナ自然界ノ懲罰ヲ食ッテモ目ガ覺メナイト云フヤウナ有様デアリマスカ
 ラ、モウ全力ヲ注イデ、學校其他社會教育總テノ施設ヲシテ、ドウカモウ少
 シ眞面目ナ、質實ナ人民ニナルヤウニシナケレバナラヌ、然ルニ此法案ナド
 ト云フモノハ、私ナドノ見タ所デハ却テ反對ノ結果ヲ來タスヤウナコトヲ爲
 サルモノダト思フ、ソレ故ニ私ナドノ多年教職ニアル者カラ見レバ正氣ノ沙
 汰トハ思ハレナイ、昨年ノ震災災ノ後ノ十一月ノ詔書ニハ實ニドウモ我々ハ
 臣下トシテ何トモ恐懼ニ堪ヘヌ御言葉ナドガアリマス、然レドモ浮華放縱ノ
 習漸ク萌シ輕佻詭激ノ風モ亦生ス今ニ及ヒテ時弊ヲ革メスムハ或ハ前緒ヲ失
 墜セムコトヲ恐ル、斯ウ云フ御言葉ニ接シテ我々皇室ニ對シ、國ニ對シ平氣
 デ居レマセウカ、アノ火事デ死ヌ死ナヌノ災害ニ遭ッテモ目ガ覺メヌ位ニ精
 神ガ墮落シテ居リマスカラ、斯ウ云フ詔書グラキデハ一向效能ガ無イカモ知
 ラヌ、斯ウ云フコトデハ我國ハ破滅デアリマス、國防モ何ニモ要ラヌ、幾ラ陸

海軍ノ軍備ヲ充實シテ、國防ヲ保チマシテモ、斯ノ如ク國民ノ精神ガ腐敗シ
 テハ遂ニ腫物ノ化膿シタ所ヲチヨット突イタヤウナモノデアアル、世界各國ノ情
 況ヲ見マシテモ皆人心ガ多ク盛大ニナツテ……行詰ッタ所、人心ガ腐敗シテ潰
 レムトシタ所ヲ、チヨット突イタ位デアリマス、強健ナ國民ハ外敵ニ襲ハレル
 憂ハ少イ、私ハ國防ヲ論ズル前ニ國民ト云フモノガ、モウ少シ日本ノ國ヲ維持
 スルダケノ堅實ナモノニナルト云フコトヲ各自考ヘ、全部サウ云フ風ニ向ケ
 ルヤウナ政治ノ施設ヲシナケレバナラヌト思フ、同シコトナラバ……若シ是
 ハ復舊復興ニ付テハ多大ノ金ガ散布サレル……殊ニ罹災地……ソレハ何ト
 カシテ浪費シナイヤウニシナケレバナラヌト云フコトハ尤デアアル、ソナラ
 バ四分ドコロデハナイ、銀行預金ヨリモ高イ一割デモ宜シイ、籤ナド變ナコ
 トヲシナイデ一割位ノ利息ヲ附ケテヤル、ソレハ社會教育費デモアリ軍備費
 ニモ當ル、精神ガ腐ッテ居ッタナラバ、鐵砲ヲ擔イデモ何ニモナリハシマセ
 ス、勅語ヤ詔書ヤ、昨年ノ勅語ナドト云フモノハドウ見ラレルカ、ドウシテ
 モ解スルコトガ出來ヌ、此問題ハ委員會デ全會一致デ通過シテ居ルノデアリ
 マスカラ、私ガ何ト反對シテモ仕方ガアリマセヌガ、將來ノタメ國民ニ訴ヘ
 テ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 藤本君ニ申上ゲマスガ、モウ通告者ガゴザイマセ
 スカラ、御希望、御意見ヲ仰シヤルナラバ此時機ニ願ヒタイト思ヒマス

〔藤本閣作君演壇ニ登ル〕

○藤本閣作君 私モ此法案ニ反對ノ意見ヲ持ッテ居ルモノデゴザイマスカ
 ガ、唯今、土方君ヨリ大低反對ノ御意見ヲ御述ベニナリマシタカラ、其上私
 ガ詰ラヌ蛇足ヲ加ヘマスル必要ハアリマセヌナレドモ、私ノ衷情ト致シマシ
 テ、ドウシテモ此私ノ反對ノ意見ガ成立ツ、成立チマセヌニ拘ラズ、此場合
 ニ於テ私ノ考ヲ諸君ノ御聽ニ達シ、併セテ政府當局ヘ申上ゲテ置キタイト思
 フノデアリマスルガ、先刻、私ガ質問ヲ致シマシタ後ニチヨット申上ゲ掛ケテ
 置キマシタガ、政府ハ郵便貯金ノ利子ハ引上ゲ惡イト云フ第一ノ理由トシテ
 ハ、貯蓄銀行ノ例ヲ何時デモ御引出シニナリマスルガ、是ハ大臣ハ御就任早
 早デモアリマスシ、又廣ク全國ニ互リマシテ貯蓄銀行ノ實情竝ニ全國多數ノ
 細民ガ郵便貯金ヲ致シマスル現状ヲ能ク御承知デナイカラノコトデアラウ
 ト思フノデアリマス、申上ゲルマデモナク、地方ノ方ヘ參リマスト云フト、
 貯蓄銀行ト云フモノハ殆ド無イト云ツテモ宜イ、偶有レバ誠ニ小サイ、從

テ信用ガ薄イカラ、ソレニ持ッテ貯蓄預金ヲスル者ハ殆ド無イト云ッテハ餘リ大袈裟デアリマスルガ、私ノ地方デ知リ得マシタ範圍デハ殆ド無イト申シテ宜シイノデアリマス、ソレニ何時デモ此郵便貯金ノ利子ヲ御引上ゲニナラスト云フコトノ材料ニ、ソレ等ノコトヲ御引合セニナリマスルノハ、如何ニモ了解ニ苦シムノデアリマス、加之、先年ノ競馬法案ノ出マシタアノ議會ノ時ト記憶シテ居リマスルガ、其折ニモ矢張り割増金ヲ高クスル、今マデ二千圓カ三千圓デアリマシタノ高クスルト云フ案ノ出マシタ時分ニ、私モ其事ニ付テ大藏大臣ニ御伺ヒシタコトヲ記憶シテ居リマスルガ、アノ時代ト今日トデハ餘程ト云フコトデアリマセヌガ、三四年ノ年數ハ經ッテ居ルノデアル、而シテ社會ノ現狀ハ如何デアリマス、思想ノ惡化ト云フコト、奢侈、驕奢、過激トカ、矯激トカ云フコト、年一年、遺憾ナガラ惡クナッテ參ッテ居リマスル、先程モ土方君カラ沼々ト御述ベニナリマシタ通りニ、豫テノ度々ノ御詔勅ニハ畏レナガラ何時ノ折モ勤儉貯蓄ト云フコト、恭儉己ヲ持スルト云フコト、其他一々申シマセヌデモ諸君ガ御承知ノ通り、國民ハ質實剛健ニヤラネバイカスト云フコトノ仰セガアリマスル、東京地方ハ知リマセヌガ、私ノ知リ得テ居リマスル所ノ、殊ニ私ノ郷里ナドニ於キマシテハ、多數ノ有志ガ率先イタシマシテ毎月一回ハ必ズ各部落トモ集會ヲシ、貴賤上下ノ差別ナク、サウシテ教育勸語ヲ拜讀ヲ致シ、名士ヲ招聘イタシマシテ、時ニハ有益ナ講話ヲシテ戴キ、又地方ノ有志ノ人ガ度々質實剛健デヤラネバイケスト云フコトヲ部落民一同ヘ徹底セシムベク、早ヤ三年前以前カラソレヲ缺カサズニ努メテ來テ居ルノデアリマス、殊ニ申スマデモナク精神刷新ノ上ニ於テ、昨年御詔勅ノ出マシテ、其趣旨ニ基イテ現政府ガ此度提案ニナリマシタ奢侈品等ノ關稅引上ノ法案ノ趣旨モ、國民ヲシテ奢侈驕奢ヲ抑制セシムト云フノガ大眼目デアル、國庫ノ收入ヲ増スノガ目的デナイト云フコトハ、兩院ノ委員會ニ於テ度々御説明ガアッテ居ルノデアリマス、ソレニモ拘ラズ、一面ニ於テ此度ノ貯蓄債券法案ガ出マシテ、ソレガ此貴族院ノ問題トナラズシテ、委員會モ易易ト通過イタシタト云フコトハ私ガ誠ニ遺憾千萬ニ思フノデアリマス、若シ國民ヲシテ貴族院ノ諸公ハ一夕ノ宴會ニ數十金ヲ費スノ何トモ思ハヌ、年中行事ノ如ク思ッテ居ラレル方々バカリデアアル、道ヲ歩クニハ自働車ヲ以テ、何等不自由ハ無イ、宅ニ歸レバ大厦高樓ニ住マッテ、數多ノ召使ヒヲ使ハレテ、自分ハ生活ノ安定ニ於テ何等缺クル所ガ無イノミナラズ、常ニ……何ト申シ

タラ宜ウアリマセウカ、國民ハ羨望ノ眼ヲ以テ見テ居ルノデアリマス、此議員間ノコトヲ兎ヤ角申スノデアリマセヌガ、苟モ此貴族院ノ議員タル所ノ職責ニ深ク省ミマシタラバ、殊ニ社會ノ中流以下ニハ一年ト種々ナ問題ガ伏在シテ居ル、此場合ニ我々ハ如何ニ小サイコトト申シテモ、之ヲ輕々ニ看過セズ、最モ深甚ニ……最モ深厚ナル注意ヲ拂ヒマシテ、此法案ノ如キハ十分ニ研究セネバナラヌコトト信ズルノデアリマス、土方サンモ仰シヤイマシタ通りニ、私、土方サンガ如何ニ此壇上デ聲ヲ嘖シタ所ガ、此法案ノ成不成ニ何等ノ關係ハ持タヌノデアリマセウガ、希クハ政府ニ於テ……此議會ノ政府ノ成功ハ、無論政府ハ大成功デアリマスルガ、其成功ヒラレタ中ノ兎ニ角直様御著手ニナラネバナラヌ所ノ關稅定率法ノ引上等ノ、國民ノ奢侈ヲ抑制スベキコトニ付テ、有ラユル手段ヲ以テ徹底的ニ社會ノ各方面ニ於テ活動ヲスルト云フコトヲ明言セラレテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ其半面ニ於テハ今直チニトハ出來ヌカモ知レマセヌガ、ドウシテモ此郵便貯金ト云フモノハ急ニ御引上ガムヅカシイト云フコトデアレバ、預ケタ月ト拂戻ス月トナリニ先ヅ差當リ必ズ利子ヲ附ケル、尙ホ進ンデハ幾分カノ利上ヲナサルト云フコトハ政府ノ此度ノ總テノ事ヲ整理ヲナサレ、促進ヲナサレル上ニ於テ兩々相俟ッテ非常ナ效果ガアルコトト信ズルノデアリマス、私ハ地方ニ於テ郵便貯金ノ勸誘獎勵員トカ何トカ云フ名稱ノ下ニ郵便局カラ御用ヲ仰付ケラレテ居ル一人デアリマス、此職責ハ常ニ空ニシテ居リマスル方デアリマスルガ、機會アル毎ニ勤儉貯蓄ト云フコトニ向ッテ地方デ私ハ相當ナ働ヲシテ居ルト信ジテ居リマス、ソレヘ持ッテ來テ此度ノヤウニ奢侈、驕奢ヲ動モスレバ抑壓デハナクシテ、ソレヲ助長サセルト云フヤウナ假リニモ非難スベキコトノアルヤウナ此割増金債券ト云フモノハ如何ニ思ウテモ私ノ反對セザルヲ得ヌノデアリマス、何等私ガ一人ノ感情問題トカ何トカ云フコトデ申スノデハ決シテアリマセヌ、本院ノ多數ノ方々ハ常ニ社會ノ大キナ所ニ目ヲ御著ケニナッテカラ、其大キナ事ニ向ッテ常ニ御努力ニナルノデアリマスルガ、不肖ノ私ハ地方ニ居リマシテ、多數ノ勞働者ト共ニ一々膝ヲ交ヘテ私ノ天職ヲ盡スノデアリマスカラ下層民ノ事情ハ、下層民ト申シマシテハ甚ダ失禮デアリマスルガ、殊ニ勞働者諸君ノ心情境遇ヲ能ク私ハ承知ヲシテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ人ニ向ッテモ、私ノ間ノナイ時分ニハ、私ノ部下ノ者ヲ使ッテ郵便貯金ノ獎勵ト云フコトハ常ニ宜シク言ウテ皆ンナニ相談ヲサシテ居ルノ

デアリマス、ソレヘ持ッテ來テ此度ノヤウナ法案ヲ、譯モ造作モナク十分ナ考慮ヲ拂ハレズシテ御提出ニナツタト云フコトガ甚ダ遺憾ナノデアリマス、御提出ニナツタノハソレト致シマシテ、其半面ニ於テ同時ニ郵便貯金デモ御上ゲニナルト云フコトデアリマスレバ大ニ同情スベキ點ガアリマス、諒解スベキ點ガアリマス、疾クノ昔カラノ郵便貯金ノ利子ハ其儘ニシテ置イテ、サウシテ其引上ゲストノ理由ヲ先刻ノヤウナ御説明ガアリマシタ所ガ私ハ承服スルコトガ出來ヌノデアリマス、ソレデ終リニ臨ンデ政府ニ希望イタシマス所ハ、前申シマシタ趣旨ヲ宜シク御酌取リアリマシテ、近キ將來ニ於テ此郵便貯金ノ利息ト云フコトニ於テハドウシテモ御考慮ガ運ラシテ貰ヒタイモノト信ジテ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ發言者モ無イト認メマスカラ討論ハ終結シタモノト認メマス、採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十七、借地借家調停法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、秋月子爵

借地借家調停法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十五日

右特別委員長

子爵 秋月 種英

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵秋月種英君演壇ニ登ル〕

○子爵秋月種英君 借地借家調停法中改正法律案ノ特別委員會ノ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ午前中ニ御報告申上ゲマシタ借地借家臨時處理法案ト相俟ッテ立案セラレマシタモノデアリマシテ、此改正ノ趣旨ハ借地借家調停法施行ノ結果ニ鑑ミマシテ、同法施行ヲ益、圓滑ナラシムル爲ノ目的ニ出デタノデアリマス、改正ノ要點ハ僅ニ二點デゴザイマス、第一點、職權調停ノ制ヲ定メマシタノデアリマス、第二ハ當事者ヲシテ調停委員會ニ出頭ノ義務ヲ負ハセマシタ、是ガ第一點デアリマス、委員會ニ於キマシテハ慎重審議ノ結果、何等ノ異議ナク全會一致ヲ以テ可決相成リマシタモノデアリマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵大河内正敏君 此際、日程ヲ追加イタシマシテ贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ上程スル爲ニ日程變更ノ動議ヲ提出イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成ヲ致シマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 大河内子爵ノ議事日程追加ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、大河内子爵

贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十三年七月十七日

右特別委員長

子爵 大河内 正敏

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔子爵大河内正敏君演壇ニ登ル〕

○子爵大河内正敏君 贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案特別委員會ハ數回開會ノ後、本朝討議及決議ヲ行ヒマシテ……議決ヲ行ヒマシテ全會一致ヲ以テ可決セラレタノデアリマス、極ク簡單ニ此經過ヲ御報告イタシマス、本案ノ提出理由トシテ、政府當局ノ述ベマスコトハ「贅澤品等」ト本案ニ書イテゴザイマスルガ、ソレハ奢侈品、嗜好品、或ハ娛樂品及其他ノモノヲ含ムノデアツテ、本案中ニ含有セラレテ居リマスル所ノ各項、例ヘバ關稅定率法別表、輸入稅表番號中ノ三十一ヨリ六百四十七ニ至リマス間ニ舉ゲラレマシタ種々ノ項目ハ、之ヲ總テ奢侈品ト認メタノデハナイノデアリマシテ、是等ノモノニハ、唯今申述ベタ如キ種々ノモノヲ含ンデ居ルト云フノデアリマス、而シテ本案提出ノ主眼ハ、先ヅ第一ニ之ニ依ツテ國民ノ奢侈遊惰ノ氣風ヲ矯正セムトスル警鐘ノ第一聲デアアル、同時ニ現今ノ輸入超過ノ貿易上ノ逆勢ヲ阻止スルノガ目的デアアルノデアアル、即チ本案ハ二ツノ目的ヲ有スルモノデアルト云フノデアリマス、大體ノ質問應答ハ先日ノ本會議ニ於テ試ミラレマシタノト大ナル差異ハゴザイマセヌカラ、茲ニハ概略ヲ申述ベルニ止メマス、先ヅ本案ノ提出ニナリマスルニ第一ニ考ヘナケレバナラナイコトハ、現行法ハ……現在ノ關稅定率法ハ、十五年前ノ制定デアツテ、日本ハ各國ノ稅制中最モ廉價ナルモノデアアル、故ニ是等ノモノヲ全部改正スル意思アリヤ否ヤ、其場合ニハ唯今ノ議題ニナツテ居リマス所ノ法案ハ如何ニナルノデアアルカト云フ質問ニ對シマシテハ、是ハ全體ノモノヲ改正スルコトハ今審議中デアアル、マダ決定シナイノデアアルガ、若シ本案ガ通過シマスルナラバ、是ノミヲ先ニ致シマシテ、全體ノモノハ後ニスルノデアツテ、其場合、是ハ多クノ場合ニ於テハ何等ノ變化ヲ受ケナイト云フノデアリマス、是等ノ質問應答中デ、或ハ密輸入ガ多クナツテ、實際ノ奢侈品ノ使用ハ減ゼナイノデアアルマイカ、或ハ法律ニ依ツテノミ國民ノ奢侈遊惰ノ風ヲ改メルコトハ不可能デアアル、而シテ之ニ依ツテハ奢侈品ノ消費ヲ減退スルコトハ出來ナイ、消費ノ節約ヲ圖ルコトハ出來ナイ、奢侈品稅ヲ課セナケレバイカスト云フヤウナ意味ヲ以テノ質問、或ハ

原料品ガ此中ニ含まレテ居ルノデアリマス、其原料品ハ主トシテ石鹼、齒磨其他化粧品ニ使用セラレマス所ノ香料麝香ノ如キモノデアリマス、是等ノ原料品ノ輸入税ヲ引上ゲルト云フコトハ、多少ナリトモ今日輸出ガアルノデアリマスルカラ輸出ヲ阻害スルモノデアルト云フ意味ノ質問デアリマス、是等ニ對シテハ、當局ハ此法律案ガ通過シテモ、必シモ總テノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイカモ知レナイ、併ナガラハ第一聲デアアル、奢修ヲ戒シムル爲ノ第一聲デアッテ、第二第三ノ施設ト云フモノハ、今後尙ホ續イテ行ク考デアアル、而シテ斯ノ如キ事柄ハ、單ニ一片ノ法律ヲ以テ其目的ヲ達スルコトハ出來ナイノデアアルカラ、當局ハ身ヲ以テ當リ、自ラ率先シテ國民ノ模範トナル所ノ覺悟ヲ有ツテ居ル者デアルト云フノデアリマス、又奢修品ニ對スル課税ニ付テハ、是ハ餘ホド十分ノ考慮ヲ運ラサナケレバナラナイ、各國トモニ直接税ニ重キヲ置イテ、間接税ヲ輕減スルト云フ現今ノ傾向デアアルニ鑑ミマシテモ、徒ラニ酒、煙草等ノ税ヲ此際引上ゲルト云フコトハ、國民ノ生活必需品ノ價格ヲ引上ゲル、一面ニ於テハ價格騰貴ヲ促スコトニナル、其他種々ノ又缺點モ伴フノデアリマスカラ、十分ニ考慮シタ上ニ是ハ行フ考デアアル、若シ此法律ヲ施行シテ、十分ナル效果ガ見ラレナイ場合ニハ、又奢修品ニ付テモ課税ヲスルヤ否ヤト云フコトヲ考慮スルト云フコトデアリマス、或ハ運動ニ使用セラルル所ノ運動具、之ヲ此中ニ包含スルコトハ頗ル不適當デアルト云フ質問モゴザイマシタガ、是ハ先程申ス如ク、必シモ奢侈品ト考ヘタノデハナイ、比較的餘裕ノアル上流ニ於テ使ハレル所ノ運動具ニ對シテハ、此際、税率ヲ引上ゲルモ社會政策上、何等惡イ所ハナイト考ヘタ爲デアアル、ト云フヤウナ答辯デアリマシタ、討論ニ入りマシテ、此贊成意見ノ中ニ先ヅ三點ヲ十分ニ當局ニ確メテ、而シテ當局ヲ信賴シテ贊成スルモノデアルト云フ意見ニ於テ大體一致シタノデアリマス、即チ一ツハ、此法律案ガ通過スルコトニ依ツテ、國民生活必需品ノ物價ヲ騰貴スルト云フコトガアッテハ由々シキ大事デアアル、當局大臣ハ殆ド其處ナシト云フコトヲ信ジテ居ラルルノデアアルガ、萬一斯ノ如キ場合ニハ直チニ其處置ヲ執ル……適當ナル處置ヲ施スト云フ言明ヲ信ジ、第二ニハ輸出商品ノ原料品ニ關スルコトデアリマシテ、即チ是ニハ假置場制度ヲ適用スル、現在ノ假置場制度ニ對シテハ、多々不便ノ聲ガアルノデアリマスルカラ、之ヲ一刻モ早く改正シ、同時ニ關稅定率法第九條ノ適用ヲ受ケルヤウニ勅令ヲ發布シテ、是等ノ化粧品等ノ原料ヲ無稅若クハ一部ノ

拂戻ヲスルト云フ制度ヲ執ラルト云フ當局ノ言明ヲ信ジ、第三ハ萬一此法律ガ發布セラレマシタ後ニ十分ニ目的ヲ達セラレナイ時ニ於テハ、何時デモ改正ヲシ、適宜ノ處置ヲ執ルト云フ當局ノ言明ヲ信ジテ、此品目ヲ仔細ニ吟味スルナラバ、多少ノ議論ハ存スルノデアアルガ、今日ハ其時機デナイカラト云フ意味ニ於テ贊成ヲスルト云フノデアリマス、尙ホ一議員カラシテ……一委員カラ致シマシテ此法律案ヲ改正セムトスル場合ニ於テハ、斯クノノモニ付テ特ニ考慮ヲシテ貫ヒタイ、ソレニ對スル議案ノ參考トシテ申述ブルノデアルト云フ意味ニ於テ、此各項ニ互リマシテ、ソレゾレ意見ヲ附シタ意見書ガ提出セラレタノデアリマス、採決ニ移リマシタ所ガ、右ノ意味ヲ以チマシテ反對意見ヲ述ベラルル方ガゴザイマセヌ、全會一致ヲ以テ可決イタシタノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ討論ニ移リマス、通告順ニ依リマシテ發言ヲ許シマス、山脇君

〔男爵阪谷芳郎君〕本員ハ質問ガゴザイマスガ後デ宜シウゴザイマスカ〔ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御質問デゴザイマスカ

○男爵阪谷芳郎君 ハイ

○議長(公爵徳川家達君) 質疑ガ無イト存ジマシテ山脇君ニ發言ヲ許サウト存ジマシタガ質疑ガゴザイマスナラバ此際ノ方ガ宜シカラウト考ヘマス

○男爵阪谷芳郎君 簡單デゴザイマス、唯今委員長ノ報告ニ依ツテ略解リマシタノデゴザイマス、極メテ大切ナ問題デゴザイマスルカラ念ノ爲ニ二ツノ點ニ付テ大藏大臣ニ御尋ネシタイ、輸出ノ減少ヲシマスルト云フコトハ此場合最モ避ケナケレバナラヌコトデアアルノデアリマス、化粧品ノ原料ニ課税セラルルト云フコトニナレバ、勢ヒ我國カラ現今輸出シテ居ル所ノ化粧品ノ生産費ガ高クナリマシテ是ガ輸出ヲ減ズルデアラウト思ヒマスルガ、ソレニ付テハ免稅或ハ假置場等種々ノコトニ付テ十分ナル取扱ヲシテ其憂ナカラシムルト云フコトデアリマスガ、之ヲ果シテ十分ニ徹底的ニ御ヤリニナルト云フコトデアリマセウカ、若シ其言葉ガ十分言明通リニ行カスト云フコトデアルト、甚ダ弊害ノ生ズルコトデアラウト考ヘマスル、決シテ輸出品ニハ妨害トナラスト云フコトノ保證ガ出來マセウカ、其點ヲ第一ニ伺ツテ置キマス、ソレカラ第二點ハ外國ノ觀光團ガ日本ニ參リマスルコトハ、矢張り日本ニ參ッテ其

金ヲ落シ又日本ニ於テ物品ヲ買フノデアリマスカラ輸出ノ殖エルノト同ジ結果ニナル譯デアリマス、從來、外國ノ觀光團其他外國ノ人々ガ日本ニ參リマシタ時ニ於テハ、十分丁寧ニ取扱フテ居ルノデアリマスルガ、此度貴金屬等ニ稅ガ重クナリマスレバ、勢ヒ稅關ガエライメンDOI取扱ヲ致スガ爲ニ、外國ノ觀光者ハ日本ノ港ニ上陸スルコトヲ好マヌ結果ニナリハシナイカ、又「ホテル」等デ用キル色々「チーズ」トカ「バター」トカ云フヤウナモノガ甚ダマヅイモノヲ提供スルヤウニナレバ、是亦外國ノ觀光者ガ日本ニ來ルコトヲ好マヌヤウニナル、詰リ日本ノ土地ニ落チル所ノ金ガ減ツテ參ル、又外國ノ人ガ日本デ買ヒ若クハ消費スルモノガ減ツテ來ルト云フコトニナル、サウスルト此奢侈ヲ抑ヘルト云フ目的ノ爲ニ却テ自家ノ經濟ヲ害スル、斯ウ云フ結果ニナリハセスカト思ヒマス、其稅關等ノ扱ニ付テハ十分大藏大臣カラ徹底的ニ命令セラレテ、サウ云フ結果ノ起ラヌヤウニスルト云フ保證ガ與ヘラレルデアリマセウカ、此二ツノ點ヲ伺ッテ置キマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 阪谷男爵ノ御質問ニ御答ヘ致シマスガ、第一ノ輸出貿易ノ障礙ト云フコトニ付テ之ヲ排除スルガ爲ニ、假置場ノ制度ヲ十分ニ活用セシメテ輸出ノ障礙ニニナラヌヤウニ努メルト云フ決心デアルカト云フ御質問デアリマス、如何ニモ此度ノ品目ノ中ニハ或ハ食料品ノ原料モ包含シテ居リマスル、又化粧品ノ原料モ包含シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ原料品ヲ……原料若クハ材料ト致シマシテ海外ニ對スル輸出品ヲ造リマス場合ニ於テ、此法律ノ實行ノ結果トシテ障礙ヲ受クルト云フコトハ政府ノ忍ビナイ所デアリマス、ソレ故ニ輸出ノ障礙ヲ除クガ爲ニハ先ヅ以テ假置場ノ取扱ニ向ッテ十分ナル改善ト注意トヲ加ヘマシテ、民間ニ向ッテモ假置場ノ利用ヲ十分ニ勸誘スル積リデアリマス、ソレニ依ッテ輸出貿易ノ障礙ヲ除クコトハ出來ルト思ッテ居リマスルガ、尙ホ實行ノ結果ニ鑑ミマシテ、假置場ノ利用ダケデハ輸出貿易ノ障礙ヲ十分ニ除クコトガ出來ナイト云フコトニナリマスレバ、其時ニ於テ政府ハ關稅定率法ノ第八條並ニ第九條ヲ適用イタシマシテ、輸出品ニ對スル或ハ戻稅ノ法ヲ探ルトカ、或ハ無稅ノ法ヲ探ルトカ云フガ如キ方法ヲ十分ニ考究イタシ、之ヲ實行イタシタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス、ソレニ依ッテ輸出貿易ニ對シテ障礙ハ無クナルト云フコトヲ政府ハ確信イタシテ居リマス、第二點ハ觀光團ニ對スル検査デアリマスルガ、是ハ稅關ノ取扱ガ寬

嚴ソノ宜シキヲ得ナケレバナラヌト思ヒマス、此法律ヲ施行スル結果トシテ密輸入ヲ防ギマスルガ爲ニハ、相當嚴重ナル取締ヲ要シマスルケレドモ、又一面ニ於テハ男爵ノ御心配ノ如キ外國ノ觀光團ニ對シマシテ不愉快ナル感ジヲ與ヘルト云フコトハ、決シテ好マシイコトデアリマセヌガ故ニ、其點ニ付キマシテハ稅關ノ取扱上、寬嚴ソノ宜シキヲ制シテ、觀光團ノ減少ヲスルト云フガ如キ虞レノナイヤウニ十分ナル注意ヲ致ス考デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 山脇君ノ登壇ヲ願ヒマス

〔山脇立君演壇ニ登ル〕

○山脇立君 此案ヲ絕對ニ反對ト云フ意味デハナイノデアリマス、成ルベクハ此冬ノ議會ニ全體ノ關稅ノ改正ガアルト云フコトデアルカラ、其時マデ延バシタラドウカト云フ位ノ反對デ絕對ノ反對デナイノデアリマス、ソレカラ第一議會ノ質問、唯今ノ委員長ノ報告ヲ承ハリマス、委員會デモナカナカ御研究ニナリ、唯今大藏大臣ノ御説明ヲ聽イテ小サイ理由ハ先ヅ安心ヲシテ宜イト云フ感ジヲ持チマシタガ、併シ私ハ此奢侈ト云ヒ或ハ贅澤ト云フコトニ付テ、ドウモ政府當局トハ意見ガ違ッテ居ル、此大體ノ意見ガドウモ私ハ贊成ガ出來ナイ、デ質問ノ際ニモ申シマシタヤウニ贅澤奢侈ト云フコトハ日本國民全體ニ對シテ一樣ニ言フベキコトデナイ、又言ヘルモノデナイト云フノガ私ノ根本ノ思想デアリマスカラ、此點ハドウシテモ此際一言述ベマシテ、サウシテ之ニ贊成スル譯ニ行カナイト云フコトニナル、細カイ點ハ段段御質問ガアリマシタガ、私共大イニ憂ヒテ居ッタンデス、今阪谷男爵ガ申サレタヤウニ香料、石鹼トカ、アア云フヤウナモノガ高クナルト云フト、折角輸出貨貿易ガ段々増シテ來ルノガ減退スル、近頃當業者カラ意見ガ參ッテ居リマスガ、今日ノ所デモ一千萬圓カラノ輸出ガアルヤウデスカラ大シタ高デアル、是ガ段々進ンデ行ケバ益輸出ガ盛ンニナル、ソレニ反シテ此輸入ト云フモノハ是ハ私ハサウ澤山ナモノデナイト思フ、香料ノ輸入ナドハ四百萬ニハ達シナイ、二三百萬クラキモノデアラウト思フ、是ノ輸入ニ高イ稅ヲ課シテモ大シタ減リハシナイ所ノモノダト思フ、却テソレハ輸出ノ方ガ段々減ツテ來ル、折角盛ンニナル所ノ輸出品ガ減ルト云フコトガ却テ心配ニナリハシナイカ、ソレカラ今一ツニハ物品ニ付テ考ヘテ見マスト云フト、ナカクマアムツカシイデスガ、實際ニ此法律ヲ施シテ見ナケレバ分ラナイ、外國品ハ安イモノデアルカラ今日幾ラ稅ガ掛ッテモ、矢張り今日マデノ値段デ賣レルモノモ

アルトカ、或ハ色々サウ云フムツカシイ關係ガアルヤウデアリマスカラ、細イコトハ私ハ述ベル必要ハナイ、唯大體ノ意見ニ付テドウモ違フデス、諸君ドウデセウ、先達テモザット申シマシタヤウニ、有産階級ト無産階級ノ間ニハ生活ノ程度ガ違ッテ居ル、有産階級ガ今日不必要ノ生活ヲシテ居ルノヲ、無産階級カラ見ルトアレハ贅澤ダトカ、奢侈ナ生活ヲシテ居ルト見ル、是ハ當リ前ノ話デ、サウ見ラレテモ仕方ガナイ、有産階級ハ贅澤シテ居ル、奢侈ナコトヲシテ居ルトハ思ハナイ、私モ有産階級ニナッタラ思フマイト思フ、ソレハ其答デアル、マア勞働ニ對スル報酬ト云フモノハ卑シク言フト、人間ハ働イテ良イ生活ヲシヤウト云フ目的デ働クニ違ヒナイ、人間ハ働キサヘスレバ報酬ガ付クト云フノハ當リ前ノ定義デアリマスケレドモ、俗論デハナカク「サウハイカナイ、折角金ヲ儲ケテ良イ生活ヲシヤウ、好イ家ニ住ッテ好イ食物ヲ喰ヒ、良イ服ヲ著ルト云フノガ目的ニ違ヒナイノデアアル、デアルカラ、ドウシテモ國民一般ニ向ッテ、是ハ奢侈品デアアル、是ハ贅澤品デアアル、ト云フ定義ハ下サレルモノデナイト、此大體ノ意見カラ私ハドウシテモ此案ニ賛成スルコトガ出來ナイ、封建時代ノ極ク簡單ナ世ノ中ニハ奢侈トカ云ウテ、私共ハ士族ノ一人デアッタガ、此奢侈禁止ハ激シイモノデアッタ、私ドモ若イ内ハ綿入ヲ著ルコトハナラナダ、足袋ヲ穿クコトハナラナダ、絹物ハ著ルコトハナラヌ、ソレガ厲行サレテ、其時分ニハ人間ニ知識モ何モノナイ、君公ノ命令ト云ヘバ唯々諾々トシテ從ッテ居ッタ世ノ中デアッタ、併シ今日ハサウ云フ世ノ中デナイカラ、段々世ノ中ハ進歩シテ文化生活トカ何トカ今日盛ンニ唱ヘラレテ居ル、モウ英吉利ナドハ文豪ニナルト理想郷ヲ描イテ居ルデハナイカ、「ウイリアム・モリス」デアルトカ、「エドワード・カーペンター」デアルトカ、チャント理想郷ヲ描イテ居ルト云フ世ノ中デアアルカラ、今日斯ウ云フヤウナ法令デ以テヤルト云フコトハ餘程遅レタコトデナイカト思フ、ドウシテモ人間ノ生活トカ云フモノハ放任シテ置カガ宜イ、幾ラ思想ナドヲ壓迫シタ歴史ヲ見テモ皆失敗シテ居ル、效ヲ奏シナイ、ソレト同ジ譯デ人間ノ知識ガ進ンデ來ルト一片ノ法令デ支配出來ルモノデナイ、却テ抑ヘルト惡イ方ヘ流レテ行クコトニナル、ソレト是トハ問題ガ違フケレドモ、サウ云フヤウニ今日ハ文化生活ト云ッテ、人間ハ生活スルノニハ享樂ヲシテ、樂シク生活シヤウト云フ世ノ中ニ進ンデ居ル、ソコヘ持ッテ來テ、是ハ奢侈デアアル、是ハ贅澤デアルト云コトハ、是ハ餘程退歩シタ考デナイカト云フノガ

私ノ根本デアリマス、其他ノ細カイコトニ付テハ色々アリマスケレドモ、ソレナコトハ述ベル必要ハナイガ、ドウモ私ハ之ニ雙手ヲ舉ゲテ賛成スル譯ニ行カナイ、相成ルベクハ冬ノ議會マデ延バシテ置イテ、尙ホ能ク考ヘテサウシテ之ヲ制定スルト云フコトニ願ヒタイノデアアル

○議長(公爵徳川家達君) 藤山雷太君

〔藤山雷太君演壇ニ登ル〕

○藤山雷太君 私ハ此法律案ハ政府ノ説明ニ依リマス、二ツノ目的ヲ持ッテ成立ッテ居ル、第一ハ國民ノ奢侈ヲ之ニ依ッテ抑制シタイ、第二ハ貿易ノ逆調ヲ之ニ依ッテ幾分カ阻止シタイ、斯ウ云フコトデアリマス、此問題ニ付キマシテ私ハ全然同意ヲ致シマス、併ナガラ第一ノ目的タル此奢侈ヲ抑制スルト云フコトガ、單ニ此法律一ツデ出來ルカト云フコトニ對シテハ、私ハ矢張り疑問ヲ持ッテ居ル一人デアリマス、併ナガラ兎ニ角奢侈ヲ抑制シナケレバナラヌト云フ今日ノ時代デアルト云フコトダケハ確デアルト考ヘマス、而シテ政府ハ單ニ之ヲ以テ奢侈抑制ノ全部ヲ達成スルニ十分ナリトハ考ヘテ居ナイ、若シ此法案ニ於テ十分ナル場合ニハ、續イテハ有ラユル奢侈抑制ノ方法ヲ講ズル積リデアアル、恐ラクハ政府ノ意思ヲ察知シマスルト、有ラユル方策ト云フコトニ對シマシテハ、内地ノ奢侈税モ起スト云フ御意思デアルヤウニ私ナドハ想像スルノデアリマス、又其他ノ色々ノ手段方法ヲ以テ今日日本ニ彌漫シテ居ル所ノ奢侈ノ弊風ヲ矯正シ、勤儉實質ノ精神ヲ以テ國民ガ努メナケレバナラヌト云フ時代ニ處スル此政府ノ精神ニ至ッテハ、私ナドハ同意ヲ表シタイト考ヘル、デ私ハ此法案ガ奢侈ノ弊風ヲ一掃シ盡スモノト云フ考ハ持チマセヌガ、併シ政府ハ進ンデ幾多ノ法案ヲ以テ今日ノ日本人心ノ頽廢ヲ防グト云フ御趣旨ニ於テ私ハ十分ノ賛成ヲ致シタイト考ヘマス、第二ノ貿易ノ逆調ヲ是デ轉換ヲスル、阻止ヲスル、是モ私ハ此目的ヲ此一ツノ法案デ十分ナリトハ信ジマセヌ、大正十一年ノ輸入總額ハ十九億ニナッテ居リマス、而シテ此税目中ニ舉ゲラレタ此奢侈品ト政府ガ認メラレテ、此度品目ヲ舉ゲラレタモノハ僅ニ十一年ニ於テ三千八百萬圓ニ過ギナイ、十二年ニ於テハ國民モ覺醒ヲ致シタト見エマシテ二千五百萬圓ニ減ジテ居ル、其僅ノモノヲ以テ逆調ヲ轉換セシメル力アル法律トモ認メナイ、併ナガラ今日ノ狀勢ニ於キマシテハ御承知ノ通りニ今年バカリデモ六億圓以上ノ輸入超過ヲ來タシテ居ル、而シテ國際爲替ノ關係ニ於キマシテハ、實ニ亞米利加トノ爲替ハ四十弗以下ニナツ

タコトモアル、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ如何ナル方案デモ講ジテ此逆勢ヲ轉換セシメル、少シデモ力アルモノハヤラナケレバナラヌト私共ナゾハ考ヘテ居ル、其點カラ考ヘマシテ、若シ此法律ヲシテ完全ナル法案ニ作り直ス、又十分ナル考慮ヲセナケレバナラヌト云フコトナラバ、次ノ機會ニ待ツノモ宜シウゴザイマス、併シ私共ナゾハ一日モ早ク斯ウ云フコトニ付テハ出來ルダタケ早クヤリタイト考ヘテ居ル、一日早ケレバ一日國家ノ利益デアアル、斯ウ信ジテ居リマス、若シ政府ガ全部ノ一般關稅ノ改正ヲ此機會ニ於テ行ヒ、而シテ其中ニ此贅澤品ニ對スル關稅ヲ非常ニ今ノ通りニ改正ナサレタナラバ、尙ホ一層國民ハ喜ンダデアラウト考ヘマス、併ナガラ承ハリマスレバ政府ハ熱心ニ其事モ企テラレマシタガ、其材料ヲ燒失シ其他ノ理由ニ於テ、一般ノ此關稅改正ヲ此機會ニ出スコトガ出來ナイ、差當リ之ヲ出シタト、斯ウ云フコトデアリマシタ、成程、三千八百萬圓ノ額ハ餘リニ巨キ額デアリマセヌ、併ナガラ一面ニハ國民ノ精神上ニ一ツノ刺戟ヲ與ヘ、而シテ一面、輸入超過ノ幾分カ防止ノ一助ニモナルト云フ其點ニ於キマシテモ、私ハ國民ハ贊成シテモ宜イモノト考ヘマス、併シ其内容ノ品目ニ對シテ見マスルト、實業方面カラ見マスルト原料ト論ズル人モアリ、或ハ製品ト論ズル人モアル、之ヲ一々十分ナ調査ヲ致シマスレバ總テ人ノ……總テノ方面ノ人ノ満足ヲスルヤウニ、是ハ贅澤品デアルト云フコトヲ確定シテ、サウシテヤルト云フコトハ容易ナ事デハナイ、斯ウ云フ法案ニハ多少ノ私ハ缺點ハ免レナイモノデアラウト考ヘルノデアリマス、唯私共ナゾガ最モ遺憾ナリト信ジマスルノハ第二ノ目的タル輸入ヲ防止シヤウト云フノニ、其輸入サルル品物ガ輸出ノ原料ニノミ用キラレテ、其輸出ノ原料トシテ製造サレタモノガ、即チ石鹼ノ如キ、或ハ化粧品ノ如キ、東洋竝ニ南洋ニ向ッテ今日ハ殆ド六七百萬圓ヨリ多イ時ニハ千萬圓ニモ達シタト云フコトハ事實デアアル、デスカル輸出ヲ最モ獎勵シテ此逆勢ヲ轉換セナケレバナラヌ場合ニ、若シ此原料ニ非常ナ高イ稅率ヲ課ケテ、其爲ニ輸出ヲ防止スルガ如キコトニナッテハ非常ナ是ハ國家ノ不幸デアアル、當ニ當業者ノ不幸ニ止マラヌト考ヘマス、然ルニ政府ハ其點ニ於キマシテハ假置場ノ制度ヲ改善シテ、最モ利便ナ方法ヲ以テ、サウ云フコトノナイヤウニスル、尙ホソレデ不十分ナル場合ニハ戻稅モ考慮スル、其他ノ方法モ考慮シテ、決シテ輸出貿易ニ障礙ニナル様ナ方法ハヤラヌト云フコトハ、今大藏大臣モ言明サレタ所デアリマス、然ラバ此輸入品ノ品目中ニハ

サウ云フ種類ガ假ニ有リトシテモ、輸出貿易ノ原料トシテ之ヲ國民ガ使フニハ更ニ差支ナイ、差支ナイバカリデハナイ、政府ハ進ンデ輸出貿易ノ方法ヲ講ズルニハ全力ヲ盡ス希望ヲ有ッテ居ラレルト云フコトヲ言明サレテ居ル、然ラバ殘ル所ハ此中ノドレガ贅澤品デアアルカ、ドレガ贅澤品デナイカト云フヤウナ問題デアリマスルガ、併ナガラ私ハ此全部ノ品目ガ國民生活ニ必需品デナイト云フコトハ明カト考ヘマス、我々ハ國民生活ニ必需品デアラバ如何ニ政府ガ強ヒラレテモ我々ハソレヲ用キヌ譯ニ行カナイ、併シ國民ノ生活ニ必需品デヤナイ、少クトモ是ハ毎日はガ無ケレバ國民ガ生活シ得ナイ、出來ナイトシマスレバ、即チ我々ハ之ヲ阻止スルコトハ出來ナイト考ヘマス、サウ云フヤウニ私ハ考ヘマシタカラ、大體ニ於テ若シ政府ハ過チガアツタナラバ改メルニ憚リハナイ、實施シテ不都合デアッタ場合ニハ變ヘル、虛心坦懷ニサウ言ッテ居ル、我々ハ政府ハ常ニサウ云フ考ヲ以テ、此法律ノ制定ヲサレル精神トシテ貫ヒタイト思フ、自分等ガ拵ヘタカラ何時マデモ此法律ヲ墨守スルト云フ考デハ困ル、政府トシテモ是ハ非常ナ過チモアラセラレカ知レヌ、今日實施シテモ、若シ明日惡イト思ッタナラバ直チニ之ヲ變ヘル、虛心坦懷ニサウ云フ考ヲ御持チ下サルコトヲ希望イタシマス、而シテ政府ハサウ云フコトヲ言明サレテ居ル、事實之ヲ實施シタ時、不便デアアル、非常ニ困ルト云フコトデアリマスレバ、如何ナル方法ヲ以テモ政府ハ之ヲ改メルニ吝ナラザルモノデアアルト云フコトヲ、私ハ說明ニ依ッテ推察イタシマシタ、我々前申シマシタ事柄カラ考慮イタシマス、今日ノ時代、國民ノ奢侈ヲ防止シ、輸入貿易ノ逆調ヲ阻止スルニ付テハ、國民ノ大ナル決心ヲシナケレバナラヌ場合デアリマス、兎ニ角之ニ不完全ナ點ガ假ニ有リトシテモ、私ハ之ニ贊成シテ差支ナイト思ヒマシタカラ、之ニ贊成シタ次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 是デ通告者ハ終リマシタ、別ニ討論モ無イト認メ

マスカラ、討論ハ終結シタモノト認メマス、本案ニ付キマシテ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

マセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十八、大正十年度歳入歳出總決算、大正十年度各特別會計歳入歳出決算報告、會議、委員長報告、決算委員長堀田伯爵

大正十年度歳入歳出總決算並各特別會計歳入歳出決算及既往年度検査未確定金額ノ検査確定シタルモノヲ審査スルニ

第一

大正十年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管朝鮮總督府歳入經常部第一款朝鮮歳入第五項雜收入中平安北道ニ於テ收入未済ニ係ル件

大正十年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管臺灣總督府歳出臨時部第一款事業費第十三項道路橋樑費中臺中州ノ支出ニ係ル件

右ハ政府ノ措置穩當ヲ闕クモノト認ム

第二

大正十年度歳入歳出總決算歳入經常部第一款租稅第二項所得稅中西稅

務署ノ徵收ニ係ル件、岸和田稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、岸和田稅務署ノ徵收過ニ係ル件、八代稅務署、神戸稅務署、岸和田稅務署、西宮稅務署、神戸稅務署、神戸稅務署、高知稅務署、北稅務署、長崎稅務署、小倉稅務署、千葉稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ十一件、横濱稅務署、西稅務署、北稅務署、西稅務署、西稅務署、古川稅務署、南稅務署、下關稅務署、神戸稅務署、北稅務署、西稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ十一件、第三項營業稅中西稅務署ノ徵收ニ係ル件、横濱稅務署、西稅務署、東稅務署、神戸稅務署、那覇稅務署、神戸稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ六件、第十一項織物消費稅中武生稅務署ニ於テ歳入ニ編入スヘキ件、第二款印紙收入第一項印紙收入中糸魚川區裁判所根知出張所ニ於テ登録稅トシテ印紙ヲ以テ納付セシメタル件、第三款官業及官有財産收入第二項森林收入中鹿兒島大林區署ノ徵收ニ係ルモノ二件、第十四項囚徒工錢及製作收入中浦和監獄ノ徵收ニ係ル件

歳入臨時部第十一款戰時利得稅第一項戰時利得稅中千葉稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、神田橋稅務署ノ徵收過ニ係ル件

大正十年度歳入歳出總決算歳入經常部外務省所管第一款外務本省第二項事務費中外務省ノ支出ニ係ル件

大正十年度歳入歳出總決算歳入經常部大藏省所管第六款衆議院第一項議員諸費中衆議院ノ支出ニ係ル件、第十三款諸拂戻及補填金第一項諸拂戻及補填金中神戸稅關ノ支出ニ係ル件

大正十年度歳入歳出總決算歳入經常部陸軍省所管第二款軍事費第一項俸給中第一師團經理部ノ支出ニ係ル件、第三項雜給及雜費中第一師團經理部ノ支出ニ係ル件、第七師團經理部ノ支出ニ係ル件、陸軍東京經理部ノ支出ニ係ル件、第四項衣糧費中陸軍被服本廠ノ支出ニ係ル件、第十五師團留守經理部ノ支出ニ係ル件、第二十師團經理部ノ支出ニ係ル件、第五項兵器及馬匹費中第一師團經理部ノ支出ニ係ル件、陸軍東京經理部ノ支出ニ係ルモノ二件、第六項演習費中第一師團經理部ノ支出ニ係ル件、第十項輸送費中第五師團經理部ノ支出ニ係ル件

大正十年度歳入歳出總決算歳入經常部海軍省所管第二款軍事費第五項造船造兵及修理費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件

大正十年度歳入歳出總決算歳入經常部司法省所管第三款監獄第三項在

監人費中靜岡監獄ノ支出ニ係ル件

大正十年度歳入歳出總決算歳出經常部遞信省所管第二款遞信費第二項遞信事業費中熊本遞信局ノ支出ニ係ル件

大正十年度歳入歳出總決算歳出臨時部內務省所管第二款治水事業費第一項事務費中內務省ノ支出ニ係ル件、第二項河川費、第三款河川改良費第四項澗川改修工事増補費中內務省大阪土木出張所ノ支出ニ係ル件、第四款港灣改良費第二項鹽釜港修築費中內務省仙臺土木出張所ノ支出ニ係ル件、第二十七款災害費第十三項北海道災害土木費補助中北海道廳ノ支出ニ係ル件

大正十年度歳入歳出總決算歳出臨時部陸軍省所管第二款國防充備費第一項航空充備費中陸軍東京經理部ノ支出ニ係ル件、第二項部隊充備費中陸軍被服本廠ノ支出ニ係ル件、第四項兵器充實費中大阪砲兵工廠ノ支出ニ係ル件、第五項整備費中陸軍東京經理部ノ支出ニ係ル件、第五款調查及研究費第三項特種兵器製造及試驗費中陸軍東京經理部ノ支出ニ係ル件、第十八款災害費第三十項高崎小銃射擊場射架其他水害復舊費中第十四師團經理部ノ支出ニ係ル件、第三十二項陸軍運輸部本部金輪島工場火災應急費中第五師團經理部ノ支出ニ係ル件、

大正十年度歳入歳出總決算歳出臨時部司法省所管第五款營繕費第二項一項軍艦製造費中海軍省經理部ノ支出ニ係ル件、橫須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル件、第二款水陸整備費第五項病院設備費中吳海軍經理部ノ支出ニ係ル件

大正十年度歳入歳出總決算歳出臨時部司法部所管第五款營繕費第二項松山監獄建築費中松山監獄ノ支出ニ係ル件

大正十年度歳入歳出總決算歳出臨時部文部省所管第三款學校創立費第五項第十一高等學校創立費中山口高等學校ノ支出ニ係ル件、第六項第十二高等學校創立費中松山高等學校ノ支出ニ係ルモノ二件

大正十年度歳入歳出總決算歳出臨時部農商務省所管第六款國有林野經營費第二項事業費中秋田大林區署ノ支出ニ係ル件

大正十年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管專賣局歳出第一款專賣局作業費第五項專賣品交付金中函館專賣支局ノ支出ニ係ル件

大正十年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管朝鮮總督府歳入經常部

第一款朝鮮歳入第一項租稅中京城府ニ於テ所得稅ノ徵收過ニ係ル件、

歳出經常部第三款裁判及監獄費第三項雜給及雜費中咸興監獄ノ支出ニ係ル件、歳出臨時部第五款補助費第七項私設鐵道補助中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件、第六款營繕費第七項新營及設備費中朝鮮總督府平城鑛業所ノ支出ニ係ル件

大正十年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管臺灣官設鐵道用品資金歳出第一款鐵道用品費第一項鐵道用品費中臺灣總督府鐵道部ノ支出ニ係ル件

大正十年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管樺太廳歳入經常部第一款樺太歳入第二項官業及官有財產收入中樺太廳ノ徵收ニ係ル件

大正十年度各特別會計歳入歳出決算陸軍省所管大阪砲兵工廠歳出第一款大阪砲兵工廠作業費第三項材料素品費中大阪砲兵工廠ノ支出ニ係ル件

大正十年度各特別會計歳入歳出決算海軍省所管海軍工廠資金歳出第一款材料物品費第一項材料物品費中吳海軍工廠ノ支出ニ係ル件

大正十年度各特別會計歳入歳出決算農商務省所管製鐵所歳出第一款製鐵所作業費第二項事業費、第三項材料素品費中製鐵所ノ支出ニ係ルモノ二件

大正十年度各特別會計歳入歳出決算鐵道省所管帝國鐵道資本勘定歳出第一款鐵道建設及改良費第一項建設費中鐵道省ノ支出ニ係ルモノ三件、第二項改良費中鐵道省ノ支出ニ係ルモノ五件

同上用品勘定歳出第一款鐵道用品及工作費第一項用品及工作費中鐵道省ノ支出ニ係ル件

同上收益勘定歳出第一款鐵道作業費第一項事業費中鐵道省ノ支出ニ係ル件

官有物中補助金ノ交付ニ代ヘ無償ヲ以テ官有地ヲ下付シタル件、土地購入ニ當リ其ノ措置ヲ誤リタルカ爲多大ノ不用品ヲ生シ且不急ノ施設ヲ爲スニ至リタル件

大正七年度歳入歳出總決算歳入臨時部第十三款戰時利得稅第一項戰時利得稅中西宮稅務署ノ徵收不足ニ係ル件

大正八年度歳入歳出總決算歳入經常部第一款租稅第二項所得稅中玉造

稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、西稅務署ノ徵收過ニ係ル件、第四項營業稅中那霸稅務署ノ徵收不足ニ係ル件

歲入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅中玉造稅務署ノ徵收不足ニ係ル件

大正八年度歲入歳出總決算歳出臨時部內務省所管第六款北海道拓殖費第八項港灣費中北海道廳留萌築港事務所ノ支出ニ係ル件

大正九年度歲入歳出總決算歳入經常部第一款租稅第二項所得稅中京橋稅務署、幸橋稅務署、八代稅務署、兩國橋稅務署、伏見稅務署、函館稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ六件、西稅務署、兩國橋稅務署、西筑摩稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ三件、第三項營業稅中那霸稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、西稅務署ノ徵收過ニ係ル件

歲入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅中八代稅務署、伏見稅務署、西稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ三件

大正九年度歲入歳出總決算歳出臨時部內務省所管第六款北海道拓殖費第八項港灣費中北海道廳留萌築港事務所ノ支出ニ係ル件

大正九年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管朝鮮總督府歳入經常部第一款朝鮮歳入第一項租稅中京城府ニ於テ所得稅ノ徵收不足ニ係ル件、歳出經常部第四款警務費第二項廳費、第三項雜給及雜費、第四項留置人費、第五項衛生及防疫費中京畿道ノ支出ニ係ルモノ四件、歳出臨時部第三十五款臨時警務費第一項臨時警務費中京畿道ノ支出ニ係ル件

右ハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スヘキモノト認ム

第三
其ノ他異議ナシ

右及報告候也

大正十三年七月十四日

貴族院決算委員長
伯爵 堀田 正恒

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔伯爵堀田正恒君演壇ニ登ル〕

○伯爵堀田正恒君 決算委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、去ル七月二日、正副委員長ノ互選ヲ致シ、同四日決算委員會ヲ開會イタシ、大正十年度歳入歳出決算ニ對スル政府當局ノ説明ヲ仰ギ、質問應答ノ後、即日分科ノ審査ニ移リマシタ、分科ノ審査ハ一週間ノ間、連日致シマシテ七月十一日終了イタシマシタ、而シテ決算委員會ハ去ル十四日終了イタシマシタ、大正十年度ノ歳入歳出總決算ニ計上サレタル所ノ歳入額ハ、二十億六千五百七十一萬千八百八十五圓六十五錢二厘デアリマシテ、歳出額ハ十四億八千九百八十五萬五千六百十三圓二十四錢五厘、依ッテ歳出差引、即チ剩餘金ハ五億七千五百八十五萬五千七百七十二圓四十錢七厘、特別會計ハ其口數ガ多クテ四十六箇ノ特別會計ニナッテ居リマス、其歳入歳出モソレゾレ計上サレテゴザイマスルガ、詳細ハ政府提出ノ決算書ニ讓リマス、結果ヲ御報告スル前ニ一言申上ゲタイノハ、今期提出セラレマシタ大正十年度歳入歳出ノ決算書ノ形式竝ニ提出ノ形式ニ付キマシテ、大正十年度ノ歳入歳出ノ決算ハ大正十二年九月ノ震災ニ依リマシテ成規ノ様式ニ依ルコトガ出來マセヌデ、特別ノ様式ニナッテ居リマス、又大正十年度ノ歳入歳出ハ大正十年ノ改正會計法ニ依リマシテ、大正十一年度ノ歳入歳出ノ決算ト共ニ提出セラレベキデアリマスノニ、同ジク昨年ノ震災ニ依リマシテ今期提出出來ズ、單ニ大正十年度ノ決算ノミガ提出サレテ居リマス、是等ノ點ニ付キマシテ決算委員會ト致シマシテ、無論質問應答ガゴザイマシテ、其經過モ御報告スベキデアリマスガ、大正十年度乃至大正十二年度ノ歳入歳出ノ決算ノ特別ニ關スル法律案ハ既ニ七月七日本院ヲ通過イタシマシテ、去ル十五日ニ既ニ公布ニナッテ居ル次第デアリマスカラ、茲ニハチヨット説明ヲ省畧イタシマス、偕テ大正十年度ノ決算全體ニ對シテ會計検査院ニ於キマシテ批難シタルモノガ一般會計歳入ニ於キマシテ四十件、同歳出ニ於キマシテ四十二件、特別會計歳入ニ於キマシテ三件、同歳出ニ於キマシテ二十八件、國債ニ於テ一件、官有物ニ於テ二件、總計ニ於キマシテ百十六件デアリマス、決算委員會ニ於キマシテハ審査ノ結果、政府ノ措置穩當ヲ關クモノト認メタルモノガ二件デアリマス、其一件ハ大正十年度各特別會計歳入歳出決算、大藏省所管朝鮮總督府歳入經常部第一款朝鮮歳入第五項雜收入中、平安北道ニ於テ收入未濟ニ係ル件、即チ金額千八百圓、本件ハ東亞天然氷株式會社代表者長谷川某ニ對シマシテ、氷雪採取ノタメ占用ヲ許可シタル鴨綠江流域官有水面六萬坪ノ使用料デアリマス、當初出願者ノ資力等ヲ能ク顧慮シナイデ、且ツ朝鮮官有財産管理規則ニ違背イタシマシテ料金ヲ前

納セシメナカッタ結果、收入ニ至ラナカッタモノデアリマス、之ニ對シマシテ、當該官吏ハ同規則ニ依ッテ料金ヲ前納ラシナカッタノハ全ク不注意デアアル、又未納金額ニ付キマシテハ目下收入ヲ爲サシムルベク手配中デアルト言ッテ居リマスケレドモ、長谷川某ノ占用許可ヲ受ケタルハ會社ノ設立以前デアリマシタカラ、右ハ發起人タル長谷川某ノ個人ノ行爲デアルトシテ、會社ハ之ヲ繼承シナイデ支拂ハナイノデアリマス、本人ハ又無資産且ツ行衛不明デアアル故ニ其料金ヲ調達ガ出來ナイノデアリマス、故ニ本件ハ官有水面ヲ使用セシムルニ當ッテ法規ニ違背シ、料金ノ收入ヲ不能ニ至ラシメタルハ不穩當ナル措置デアアルノデアリマス、他ノ一件ハ大正十年度各特別會計歳入歳出、大藏省所管、臺灣總督府歳出臨時部第一款事業費第十三項道路橋梁費臺中州ノ支出ニ係ル件、即チ金額十六萬四千五百圓、本件ハ臺北市古川某外一名ノ請負ニ對シマシテ施行シタル所ノ縦貫道路大肚溪架橋工事五十六萬二千七十九圓ノ中最終拂ニ屬スルモノデアリマス、右ハ年度内ニ竣工スルモノトシテ證明サレタモノデアリマスガ、其實、大正十一年六月中旬ニ竣工シタルモノデアリマス、今ノ金額ハ同年五月中、小切手ヲ發行イタシテ置イテ、六月ニ至ッテ支拂通知書ヲ請負人ニ交付シタルモノデアリマス、依ッテ本件ハ年度内竣工セザル工事ニ對シテ、是ガ經費ヲ支拂ヒタルモノデアリマシテ、同ジク不穩當ナリト認メタノデアリマス、政府ニ對シテ將來ノ注意ヲ促スベキモノト認メタルモノガ百件、其他ノ歳入歳出ニ對シテハ總テ異議ナシト決定イタシマシタ、會計検査院ニ於テ既往年度検査未確定ノ金額ノ検査確定シタルモノガ大正七年度ニ於キマシテ一件、同八年度ニ於キマシテ五件、同九年度ニ於キマシテ二十一件、是等ハ總テ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スベキモノト認メマシタ、是デ決算委員會ノ結果ハ御報告ヲ終ヘマシタガ、尙ホ一言、決算委員會ノ決議後ニ於キマシテ、第一分科主査カラシテ御希望ガ出マシテ、委員諸君ノ大多數ガ已ムヲ得ズトシテ御賛成ニナリマシタコトガゴザイマスルカラ、ソレヲ御報告申上ゲマス、第一分科ハ御承知ノ如ク、年々歳入大藏省鐵道省ノ所管ヲ審査イタシテ居ルノデゴザイマス、トコロガ第一分科ノ指摘事項ハ年々多イ爲ニ、第一分科ノ審査ガ常ニ長引クノデアリマス、殊ニ今回ノ如キ短期ノ議會ニ於キマシテハ甚ダ審査ガ困難デアリマス、他ノ分科ト比較シテイツモ第一分科ガ甚ダ分量ガ多イ、願ハクバ第一分科ノ所管ノ中カラ幾分ナリトモ割イテ戴キタイ、事務局ト相談シテ見タ所ガ、分科ヲ必シモ四分科

ニシナクトモ、五分科ニモ出來ル、又五分科ニスルノガ或ハ都合ガ好イトモ思ハレル、故ニドウカ今後ハサウ云フ風ニシテ貫ヒタイト云フ御希望デアリマシタ、之ニ對シマシテ委員會ニ於キマシテハ滿場一致ヲ以テ賛成イタシタノデゴザイマス、念ノ爲ニ申上ゲマスガ、是ハ決シテ將來ヲ拘束スル意味ニ於テ決議シタ次第デハゴザイマセヌデ、無論、分科ノ分ケ方其他審査方法等ハ其年度ニ於テ決算委員會ニ於テ決メテ居リマスルガ、サウ云フ風ナ分ケ方ノ方ガ御都合ガ宜カラウト云フ意味ニ於キマシテ、ドウカサウ云フ風ニシテ貫ヒタイト云フ希望ヲ決議イタシタ次第デアリマス、之ヲ以テ報告ヲ終リマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御質問モ無イト認メマスカラ、決算委員長ヨリ提出セラレマシタ報告書ニ對シテ採決ヲ致シマス、決算委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 報告ヲ致サセマス

[瀬古書記官朗讀]

本日議員ヨリ左ノ議案ヲ發議セリ

地震ノ測定設備充實ニ關スル建議案(發議者伯爵林博太郎君外七名、贊成者侯爵四條隆愛君外七十五名)

○議長(公爵徳川家達君) 明日ノ議事日程ハ決定次第、本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日は是ニテ散會イタシマス

午後四時十二分散會

